

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子炉施設（STACY（定常臨界実験装置）施設）の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング（1）

2. 日時：令和4年11月29日（火）16時05分～18時30分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

金子安全規制調整官、立元管理官補佐、島村主任安全審査官、井上安全審査専門職、三好技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部

臨界技術第1課 臨界技術第1課長 他3名

安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部

施設保安管理課 技術副主幹 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

資料1：STACY施設設工認（実験用装荷物の製作及びデブリ模擬炉心の新設）

資料2：STACY運転再開予定の見直しとスケジュール公表について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁、井上でございます。今日はS T A C Yの設工認というところで
0:00:13	設工認というところで実験用倉庫別の製作及びデブリ模擬炉心の新設 と、
0:00:19	いう内容につきましてヒアリングをさせていただければと思います。本 日のヒアリングの流れでございますけれども、
0:00:28	まずはですね当申請の概要と、
0:00:32	いうところでJ AのS T A C Yさん施設側の方にご説明いただき、質疑 応答という形にさせていただければと思います。
0:00:44	また、いただいております。すいません、s t a g eの運転再開までの スケジュールというところにつきましても設工認の質疑応答が、
0:00:55	終わりましたら、ご説明いただくと。
0:00:58	ご説明いただき、質疑応答と、というような、
0:01:02	そんな流れで進めさせていただければと思います。このような流れで、
0:01:09	いかがでしょうか。
0:01:12	はい。こちらS T A C Yで承知しました。
0:01:16	はい。それではまず設工認申請の概要という。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:28	石垣香田です本日はヒアリングありがとうございます。精神は規制庁イノウエでございます。すいません。ちょっとよろしいですか。どうぞ。
0:01:38	接種の設工認の概要の前にですねまずステージでどんなことをするのかというところを、まず簡単にご説明。
0:01:48	いただけないでしょうかというのもちょっとすみません、資料上もとっくにそういったものがなくてですね、あまりイメージが湧かないというところもございまして、ちょっとすごいこのような、
0:02:01	お願いをさせていただいております。
0:02:06	はい承知いたしました。それでは本日のヒアリングクリートですね、S T A C Yの説明についてご説明変えさせていただきます。
0:02:16	まずですねS T A C Yに関しましてはすでに運転再開までの設工認に対しては、基本炉心というものをお出しして認可をいただいて、
0:02:27	今後運転再開して初臨界ということを計画してございます。
0:02:33	ただしですねS T A C Yに関しましてはその後、実験のための運転を計画しておりまして、までフリー模擬炉心というものを作って行って、運転したいと考えておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:48	そのために、実験用装荷物というですね、基本炉心で入れるとしていなかった実験用の装置をいろいろと製作いたしまして、
0:02:58	基本炉心と今までをみお目に掛けてきた炉心とは違う人を使って実験運転をしてデータをとっていくと。
0:03:06	そういうことを初臨界運転再開後に計画してございます。
0:03:11	その時にですね、許可の中に実験用装荷物は何種類もエントリーしてありますけれども、その中からですね、実験計画に応じてこういうものを作ろうということを私どもの研究の担当者、
0:03:26	私ども運転の担当で調整をいたしまして、実験用の装荷物を設計いたしまして使う、その実験用装荷物を設計製作して、運転をするためにはですね、
0:03:41	まず規制庁さんに、実験用装荷物そのものの設工認、こういうものを作りますという設計を御説明して認可を受けて作るという手続き、
0:03:51	それからそういうものを作って炉心に入れると炉心の核特性がどうなるかと、機器、本基本的には炉心の中に入れても、許可の中でお約束したパラメーターの範囲を超えることはないということをご説明したいと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:07	<p>そういうことでございます。本日通から始まるこの設工認の趣旨といたしましては、これから私どもがどういう実験用の装置を作っていくか、そしてその実験の装置を使ってどういう炉心を作って運転していくかということをご説明して、認可をちょうだいしたいと。</p>
0:04:26	<p>こういう流れになります。それで、このSTACY施設の設工認実験予想貨物の製作及びレベル模擬炉心の新設という設工認を製作、作りまして、申請させていただきました。</p>
0:04:39	<p>これが概要でございます、それでは背景がわかっていただきましたところで内容を説明しますが1回背景について質疑されますか。</p>
0:04:52	<p>今回、今回使える人を使ってどういうふうに、</p>
0:04:57	<p>その辺規制庁イノウエでございます。もう1回実験をされるということなんですけども今回つくるようつくるものが何個かあるかと思うんですけども、</p>
0:05:08	<p>これを使ってどのような実験をやっていくのか、そういったところをちょっと教えていただけないでしょうか。</p>
0:05:15	<p>はい。まずですね、私どもは次、研究計画として、東京電力さんのいわゆる1Fの燃料デブリの核特性解析を核特性を知るということを、</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:31	挙げてございます。そのためにですね、研究グループの方では今までコンピューターを使いまして、燃料デブリの計算、
0:05:42	商業炉用の軽水炉用の二酸化ウランの燃料の中に原子炉を作っていた構造物、鉄やコンクリートと様々なのが町って複雑に絡み合ったような燃料デブリがこうであろうと。
0:05:58	どういうものが出てきてもいいように、様々な計算をいたしまして計算データを今積み重ねてございます。データベースを作っております。
0:06:07	そのデータベースを実用に供するためには、何種類かですね、実際に臨界実験を行いまして、
0:06:17	このデータのなんていう信頼性を確認しなければいけないと、それが実験の目的でございます。
0:06:24	そしてデブリ模擬炉心そういう、何と申しますか、燃料に鉄やコンクリートをまぜ込んだ炉心をつくるという目的のために、作り使いますが、
0:06:38	今回申請しております。デブリ構造材模擬体、燃料試料挿入管というものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:47	デブリ構造材模擬体というのは、鉄やコンクリートとデブリの中にまじり込んでいるものそのもので作った装荷物として、これはですね燃料棒と一緒に炉心に差し込んでですね。
0:07:00	委員会実験をしてそれらの物質がまざり合ったときの、体系を作って臨界実験を行うということを考えております。
0:07:11	それから燃料試料挿入管というものに関しましては、実際にですね、私どもの使用施設の方の設備で、
0:07:23	線量の燃料と鉄やコンクリート後はそれ、それ、それ以外の多様な材料を本当にまぜてしましまして、まざった状態のペレットを作りましてそれを炉心に装荷するというものでございまして、
0:07:38	そういうものが装荷できるように、さや管を作るというのが燃料使用挿入管であります。
0:07:45	またですね、伴種類ございます次年デブリ構造材模擬体燃料試料挿入管、それから内挿管というものですけれども、
0:07:55	これが内装管につきましては照射試料や検出器等を炉心の中に入れてですね、測定したりあぶったりと、中性子束を中性子を当てて

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:09	ダブったりということができるよう炉心の中に試料や測定器を差し込むという、そういう、
0:08:16	体感でございます。平たく言えば内装化については実は只野、片方が閉じちゃって、布田でございまして、その管を炉心の中に入れて管の中に、資料です。そのような実験を、
0:08:30	実験というか測定のためにそのようなことを行うというものでございます。
0:08:35	これは大体その具体的に何をやろうかとしていることの概要でございます。
0:08:43	はい。規制庁、井上でございます。ご説明ありがとうございます。燃料試料を入れるというところの、これは
0:08:52	同じ原価計の中の修設から常設で作ったものを入れるというところで、実際に
0:09:02	何て言いますか、福島第一原子力発電所から取ってきたもの、これを入れるとか、そういったことではないと、そんな理解でしょうか。
0:09:10	名刺の聞こえないですはいご理解の通りであくまで模擬的に、私どもの手で作った資料を入れるものでございまして1Fのデブリを直接入れ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>るといことは考えてございません。それはちょっと困難でございます。</p>
0:09:34	<p>規制庁、井上でございます。模擬体でちょっと考えているのがあって、テストコンクリートというところかと思えますけども、</p>
0:09:43	<p>なぜこの二つの材料選ばれてる、おるんでしょうか。はい。原子力機構井田です。まず、ジルコニウム等もでございます。それから説明に関しましてはもう何といいますか非常に量が多いということそれが主、主として存在するという理由でございまして、</p>
0:10:03	<p>コンクリートに関しましては、研究の方ですね、水に触れた場合の減速効果が思ったよりあると。</p>
0:10:14	<p>ということと、それから中に入ってるカルシウム等の成分の中で、きちんと突き詰めて研究する必要がある核データの制動的にもっと研究する必要があるという、</p>
0:10:27	<p>意見が出ておりまして、それで私ども選定してございます。</p>
0:10:36	<p>規制庁イノウエでございます。実際にあるものと、影響が大きそうなもの、復興庁について、</p>
0:10:44	<p>データを蓄積していきたいと。そういったことかと思えます。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:50	はい。
0:11:05	すいません。規制庁の井上でございます。では布施志賀で大体何をしたいのかということ。はい。ご説明いただきまして、それでは中身、今回の設工認の中身について、
0:11:19	ご説明いただければと思います。
0:11:23	はい。そうしましたらでは担当の方から、今回の治療F T1-1についてご説明したいと思います。はい。原子力機構の新垣です。
0:11:35	P D F の資料に従って説明をし、いたします。
0:11:40	実験装荷物の製作及びグリコ技師の新設ということになります。
0:11:47	本申請をするイシイを用いる実験層厚物及びデブリの病診を新設するために申請するものです。編としては第1編第2編、あります。第1編についてはその他試験研究用と原子炉室、
0:12:01	附属施設のうち、実験設備に関するものです。第2編については原子炉本体のうち炉心に関するものになっております。
0:12:11	まず代弁についてです。
0:12:14	第1編の構成ですが、その他試験研究用原子炉の附属施設には次の三つから構成されております。そのうち主要な実験設備が今回の新税の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:27	説明になっております。その後、宇宙の実験設備というものは、二つ。 まず、実験用透過物との短縮について発生装置から構成されております。このうちの実験を取った物が今回の申請です。
0:12:43	さらに、この2の実験用装荷物というものは、これがAからHのもので構成されております。本申請がそのうちに、
0:12:52	そうですね、椎野デブリ構造醜味体と、飯野燃料資料3管理部の外操作、この三つに関する、
0:12:59	申請となっております。
0:13:02	まず、設計条件です。設計条件につきましては、これら三つの実験設備について、同じになっておりますのでこちらの一つの表でまとめておりますが、
0:13:13	まず機器種別はアノンプラスになります。耐震クラスはB、最高使用圧力は、静水頭2.0メートルで最高使用温度80度となっております。
0:13:25	続きまして5ページですが、設計仕様に移ります。設計仕様につきましては、先ほど質問ありましたがベリーフォーが右田様、鉄とコンクリートの2種類製作をします。
0:13:38	それぞれ棒状形状のもので、直径9点を回っております。いえ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:45	別の方については、休日の⑤になっておりまして、こちら全長 1000、
0:13:51	フォークミートであと、材料としてはさっきの頑張りをういていま す。共通としては 70 分。
0:13:58	で、コンクリートの方につきましては、こちらの被覆管になっておりま して、内径にぜひ 7 点を、全長は欠損が 1500 です。被覆管。
0:14:09	O B 常務丹 1000 株男性についてはアルミニウム合金で製作を行いま す。本数については鉄と同じ 70 本になっております。
0:14:19	続きまして、
0:14:21	燃料資料挿入管の設計仕様ですので燃料資料挿入管の設計仕様ですが、 こちら外被覆管劇や 9.5 被覆管内規については、
0:14:32	8.36 で下部単線 14.7 全長 1500 t で、材料については被覆管各河川等に 出るか類等を用います、上部体制については 304 で本数は 25 本となっ ております。
0:14:47	続きまして 7 ページ、内挿管の仕様です。内挿管にしろ磯野っぽいもの と、そういうものを製作します。
0:14:55	細いものは、外径 9.5 内規 8.36 つで現状は、先ほどより少し短く 1495 人と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:05	材料はジルカロイを用いますで製作の 30 本内挿管の太い方については、外径 28.8、内径 27.0。
0:15:15	全長 1495 で材料アルミニウム合金でこちらの内挿管太い方はアルミ 2m で製作するということ
0:15:25	タイプが大きいということで、水中に入れた時に浮いてしまう。
0:15:31	ということで、
0:15:32	伺うために鉛を入れて、伺うように鉛を入れます。
0:15:37	製作本数が 3 本となっております。
0:15:41	続きまして 8 ページです。8 ページの方。
0:15:45	まず、デブリ交付合議体の鉄に関する構造図でして、
0:15:50	見ていただいた通り、もう浜野丸中立棒になってまして先ほどの寸法、このような、
0:15:57	形状となっております。
0:16:00	続きまして 9 ページ。
0:16:02	デブリ構造材みたいのコンクリートの構造物になっておりますが、こちらのアルミ合金の被覆管ですね、2 個の下部断線と上部断線があります。その中にコンクリートペレットを充填します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:18	このような、
0:16:20	そうですね。充填して 100 象嵌を締めると、このような構造となっております。
0:16:29	続きまして 10 ページ、こちら燃料試料村民パフォームになっております。
0:16:35	こちら、まず被覆管ジルカロイ報パターンの 1、
0:16:40	常磐線は次のページで説明いたします。
0:16:44	このような、2、
0:16:46	被覆管やっております。
0:16:48	上部単線ですが、
0:16:50	こちら少し複雑な形状構造してまして、要員に抜けないように、こちらの O B 名がついてるんですがこの農林、ここの、
0:17:02	本層は締め付けると、リングが径方向に広がって、良い、
0:17:10	二部体制が抜けられないような構造となっております。
0:17:15	続きまして 12 ページです。
0:17:17	12 ページは内挿管を細いものの構造図になっています。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:21	こちらのタダノ社間ですね、上部の開放型で、羽生断層について増え、 こちら簡単輸送、それぞれジルカロイフォード製作するパターンとなっ ております。
0:17:34	13 ページです。13 ページは、内挿管の太いもの構造図になっておりま す。こちらについては保管土地がいつも、先ほど説明した、
0:17:44	しましたが、抜いてしまうことがあるということで、こちらな中に、丸 尾小堀として受け入れるような設計としております。
0:17:57	14 ページからが工事フローを持っております眠惣菜本体別の工事フロー ですが、こちらの冊子の方でいけば、材料を入手してから、建設材料取 りしたい学校構造検査、
0:18:11	梱包搬入と、このようなプロセスを行っていきます。
0:18:17	15 ページです。こちらはブリッ構造材模擬体のコンクリートをやってま す。少し月曜日は、フロア複雑によって、その上部断線と被覆管と下部 単線コンクリート、
0:18:30	それぞれ材料を入手して、各材料検査ですね、材料検査し材料取り機会 確保構造検査という、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:39	加古丹線と被覆管を組み立ててそこにコンクリートのペレットを詰めます。
0:18:45	コンクリートベッドをつけたと上部弾性を閉めて、検査を巻いた寸法見、
0:18:52	提供性確認検査を行いまして着本を現地搬入というふうになっております。
0:18:58	続きまして 16 ページです。16 ページ燃料試料挿入管の工事部門になっております。
0:19:04	後総務課の被覆管とバブた洗浄部完成後のうちの圧から構成されております。フローについては先ほどと同じなので割愛いたしますのが材料入手から、
0:19:15	各種検査を行って、梱包搬入となっております。
0:19:21	内装管の工事フローについても同様です。カンタイと各弾性の材料入試から、材料取引対価構造計算組み立て溶接、
0:19:32	本項搬入と、このようなフローになっております。
0:19:36	18 ページは、内挿管法というものの応募工事フローになっておりますが、内野川、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:43	艦隊株弾性大森と、この三つについて材料入手から、このようなフローで、
0:19:49	検査を行い現地搬入というふうになっております。
0:19:54	はい。続きまして 19 ページですが、こちら検査項目をまとめております。材料検査、寸法検査外観検査、密封性確認検査、適合性確認検査品質マネジメントシステム検査と、
0:20:07	あります。材料寸法外観については各設工認でもよくある項目なのでしよう。説明割愛いたします。こちら、
0:20:16	ですね日本性確認検査については他の設工認とちょっと違いますので説明いたします。
0:20:23	まず、今回その密封性確認検査としてこのデブリ構造材の板井と、燃料試料の挿入管というのはその上部単成角田生でこう蓋をして中に水が入らないような、
0:20:35	方法となっております。本当ね、
0:20:40	検査の段階でヘリウムリーク法、または発泡法を用いて静水頭に 2.0 メートル相当圧力に対して、それ及び変形等の異常がないことを確認します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:51	もしくは、潜水と 2.0 メートル以上の圧力条件下で水が浸入しないこと、及び変形等の異常がないことを確認します。
0:21:00	内装管については上部開放型になっておりますのでこちらの添付性確認検査は対象外としております。
0:21:07	その他適合性確認検査品質マネジメントシステムに関する検査を、他の設工認と同様です。
0:21:16	はい。20 ページになります。20 ページ設置工認実現ショップの適合性に関する説明です。
0:21:23	ポプラの技術基準規則、今回該当する条項をピックアップしてますね。 6 条の地震損傷発情の外部損益。
0:21:33	外部衝撃、第 11 条の機能確認、第 38 条の実験設備等が、説明すべき適合性を、情報として挙げております。
0:21:45	そのうち、第 8 条の外部衝撃についてですが、今回製作する実験用設備 というものは、
0:21:55	実験棟 A ですね、静止入所施設が

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:59	設置して実験という中で用います。従ってその外部事象にある損傷の防止については、これまで申請しています設工認申請書 S T A C Y 更新第 4 回申請を通るということで説明を、そちらの方に飛ばしております。
0:22:16	それ以外の 6 条は、11 条 38 条のペースがまず 6 条については、
0:22:22	要する地震力による損害により、公衆に放射線障害を及ぼすことがないよう設計するとしております。8 条につきましては、8 条については先ほどの通り設工認第 4 回申請の方に飛ばしております。
0:22:36	第 11 条については、必要な機能の確認をするための試験または検査及び、これらの機能を健全に受けるための、もしまたは、
0:22:47	実施できるよう、外観の確認ができる設計とするとしております。
0:22:52	38 条ですねこちらの代行に 55 までありまして、まず、1 項の 1 号について、実験設備と今回製作するものですね、の損傷、その他の実験設備等の異常が発生した場合においても、
0:23:07	試験用等の後はですね、そこが恐れがない設計とするとしております。
0:23:12	2 号につきまして実験物の移動または状態の変化が生じた場合において、ゲンチュウの試験研究用等原子炉に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:21	反応度が非常に導入されない漸減せしております。3号については、放射線または放射性物質の著しい漏えいの恐れがない設計とします。
0:23:32	4号につきまして試験研究炉原子炉の健全性を確保するために、実験設備等の動作状況、
0:23:38	異常の発生状況、
0:23:40	周辺の環境の状況、その他の試験研究用等原子炉の安全上危険なパラメーター下パラメーターを原子炉制御室表示できる設計とする、しております。
0:23:52	最後5の須川実験設備等が設置されている場所は、原子炉制御室と相互に連絡することができる場所とするとしております。
0:24:03	今野側の適合性説明の、
0:24:08	概要となっております少し細かくこれから6条について説明いたします。まず6条、先ほど説明したところですが地震力による損壊により公衆に、
0:24:19	放射線障害を及ぼすことがないよう設計するというので、耐震計算を、耐震評価を行っております。方針としては、実験装荷物は重要度に応じたさ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:30	通して算定したBクラスの静的地震力を用いて、耐震強化を行う。
0:24:35	なお、今回の実験設備ですね、は、支持構造物に固定されていないため、共振する恐れはないとしております。
0:24:46	で、23 ページですが、暴力評価です。こちらの実験予想貨物の概略図及び計算モデルを示しておりますがこちらの炉心タンクですね、なっております、
0:24:58	S T A C Yには格子盤が中段の上部とほぼ3枚東芝があります。
0:25:04	実験報告物はこの中に挿入して使う形になります。今回評価としてはこの3点ですね、知事さんて指示があるのでこの指示3で、
0:25:17	について、評価を行っております。
0:25:21	まず、実験予想貨物の皮膚癌上南用物の重量は19に重くすることで計算、3日に保守性を持たせるということで、実際にこれから設計しますが、その設計よりも、ほぼ、
0:25:36	重量を用いて、評価を行っております曲げモーメントの計算ですが、これ最大5ブメントが発生するM分の分布数のJ-Rモデルとして行うということで、もちろん

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:50	仮に来た時、2ヶ所、曲がるバグが臍帯巻が発生するところ A M A G I が発生するところがありますが、こちら L & L 積田時に L・パワーの方 で、災害モーメントが発生しますので、今回は L 湾のこの
0:26:06	仲座 1000mm ですね、1000mm のところで計算を行っております。
0:26:11	三つ目のところで大相関については内容図 A の挿入高さ位置が可変であ るため、内容物を集中荷重として曲げモーメントを算出し、ブック荷 重、
0:26:23	で算出した曲げモーメントに加えることとするということで、内装か検 出器等を入れて用います。この検出器等については場所が、
0:26:35	実験によって高さが変わりますので一番具が曲げモーメントが大きくな るの中心部ですね、比留間の中心部に検出器があると。
0:26:44	そうして決算を行ってますその時ここ 1 軒に集中化時になるように、計 算を行っております。この真鍮パー人と代行磐梯の皮膚癌のルートパス ですね、これを加えて計算を行っております。
0:27:01	持久走貨物の許容力についてですが、こちらの耐震基準の方見参考に行 っております、今回、実験設備は最初に説明しましたが機器種別がノ ンクラスになっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:17	ノンクラス数であると一つの判定基準が決まらないということで、今回の実験設備がどのクラスに相当するかということで、第4種容器、
0:27:30	相当だろうということで内容使用機能、許容力の判定基準もついております。
0:27:38	評価としては一次一般膜応力と一次応力ですね、これらの許容力を満たすことを確認しております。
0:27:44	下の表が、実験層厚物の評価結果になっております。左デブリ構造材模擬体から燃料使用するみたい相関とこのフィックスですが、それぞれその思想力がこの左側の
0:27:58	別になっております。揚力こちらになっております。見ていただいたところでわかると思うんですが1桁以上オーダーで、颯爽力の方が小さくなっていると。
0:28:09	というのがわかるかと思います。実験装荷物に発生する応力はすべて許容応力以下であるということを確認しました。
0:28:18	はい。続きまして25ページ。
0:28:21	38条実験設備等に関する適合性の説明です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:26	第1号の適合性のところは、耐震強度ですね、耐震強度を有する設計と するということで、先ほどの6条の説明と同じなのですが、強度を有す る設計としております。
0:28:39	2号に適合するようということで、2号に適合するように、これら実験 要則物を装荷する際は、本規定に基づき、原則として計算解析を実施 し、
0:28:50	核的制限値や炉心特性判読し有無の確認するとしております。
0:28:56	3号についてですが、燃料資料挿入管は、放射線、また、操作生物の著 しい漏えいをするために、上部弾性の取り扱い時に容易に外れず、
0:29:06	水密性を有する、脱着式の単線とすると、また内挿下に、
0:29:12	挿入する核燃料物質及び放射性物質を密封したものとする事下遵守す る。なお、デブリ講座模擬体は、放射性率を含まない。
0:29:22	設計のため法的は不要であるとしております。
0:29:26	26ページです。26ページ、第4号ですが、そんな実験設備は、その効 果増大を制御室からテレビモニターにより監視できる設計とします。
0:29:36	第5号ですが、実験装荷物が、設置性路線ですと、制御室との連絡はペ ージング装置により行うことができる設計。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:47	とし、しております。
0:29:50	ここまでで第1編の説明以上になります。続きまして、第2編、原子炉本体の内のロスについてご説明いたします。
0:30:01	まず、構成及び申請範囲ですが、原子炉本体は、これはいずれ
0:30:06	もこっから構成されておりますそのうち一番の強いです。
0:30:11	上記のうち、後打ちのシーンは人から構成されるということで、冒頭の説明でもありましたが基本ろ紙の説明がありました。その基本方針についてコンパクト、このデブリもよろしい。
0:30:23	1 というものを申請いたします。
0:30:27	29 ページです。
0:30:29	まず設計条件ですが、
0:30:32	名称をめぐりの議論しております。人体制が40 から140 です。
0:30:38	長最大バージョンアップ、0.89 倍推計され、
0:30:42	パーフォレート三分。
0:30:45	半分健康率は、古田近傍で $3\phi / \text{sec}$ 以下、思案現場の停止時の中性子実効増倍率 0.985 以下、最大反応度災害反応度価値を有する安全番地の挿入不能時の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:01	中性子実効増倍率 0.995 以下、減速材は、
0:31:06	記者材、対燃料ペレット体積がね、9011 歳向後が 70 と。
0:31:12	実験層厚物による災害は、
0:31:15	結果図 2. 三分としております。いえ。
0:31:18	設置変更許可申請書に定めた炉心特性範囲の意見を行います。
0:31:26	はい。続きまして 3 ページです。こちらのまず上の表で、核的制限値に関連する防水特性値で、そういうの件数と、最大反応度添加率相当給水流量の最大最小値、こちらの箇所に分かれている値となっております。
0:31:43	十河主査、S T A C Y で構成される吉井等の特性情勢ですが、こちらも減速材温度反応度ケースと、あと減速材ボイド反応度係数、
0:31:53	構造燃料の時計裾は中性子寿命実効遅発中性子なり、それらの最大最小値が停止しておりますが、こちらも教科書で記載されたものを転記しております。
0:32:07	はい。続きまして 31 ページですが、浅見主席、プリプリのミヨシ 1 の設計仕様には、
0:32:14	使用憲法通番のエコースタンド分 15 ミリと 12.7mm になっております。一応燃料体については、既設のものを用いますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:25	浦規制システムで、
0:32:28	処理してます、乱暴増減量を%のものです。
0:32:32	そこほう素 50 本契約村議会で唯 140 センチ超の給水によって人がならない場合は 900 本近く、
0:32:41	減速材反射については係数を用います。実験計画に応じて可溶性中性子吸収材を添加します。
0:32:48	操業材についても季節ですが減速材反射材の欠席貿易安全バーを用います。
0:32:54	関連主要設備計装については最大給水制限スイッチ、給水停止スイッチ排水回数 1 生活時については給配水系の安全は、
0:33:05	気をつけたメンバーを用います。ここまでは基本方針の時と記載を同じですが今回新たに追加となるのはこの主要な実験設備施設のところですね。
0:33:17	実験予想核デブリ棒座模擬体とこちらを用いますで運転にあたり、炉心の核的制限値を満足し、かつ、設置変更玖波申請書に定めた炉心特定の範囲になるよう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:31	報告として計算解析により評価し、確認するか、その確認の手順は、原子力研究所の原子炉施設保安、その不規定を含むに定めて遵守します。
0:33:46	32 ページです。こちら炉心の工事フローになっております。
0:33:50	基本的には基本ロスに
0:33:53	うちの設問のコールローンと同じとなっております1のところはここで すねまず緑高が合議体というものを、こちら大転換ですが、そちらの方に、
0:34:06	装荷します。
0:34:08	プランのノウゾウ燃料については平成2年5月1日に認可を受けた既設 の燃料を用いて次、
0:34:18	工事を行います。
0:34:22	33 ページが、検査項目となっております。検査項目は炉心防錆確認検査 と性能検査、視察を行います。ベリ炉心構成確認検査についてはデブ リ降ろし位置づいて格子盤計装、
0:34:36	制御設備等関連する系統を含め、所定の構成であることを目視で確認し ます。
0:34:42	性能検査については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:45	A B C 三つですねまず初回臨界検査ということで、炉心タンク内に係数を段階的に給水し、水位を上昇させることにより、原子炉が水 40 センチから 140 センチの範囲内で臨界を達成し維持できることを確認します。
0:35:02	で、二つ目がワンロッドスタックマージン。
0:35:04	検査として、臨時の臨界状態において安全の 1 枚を残し、残りの現場を落下させ、中性子実効増倍率を測定し、所定の核的制限値を満足することを確認します。
0:35:17	三つ目、原子炉停止余裕検査については、
0:35:21	原子炉の臨界状態において、全安全等を落下させ、中性子実効増倍率測定し、測定の目的制限値を守っていることを確認します。
0:35:32	34 ページが、第 2 編背の切望に技術基準し、規則等の適合性の説明になっております。
0:35:40	第 2 編人増の、2 年に関してはこの第 10 条ですね、が適合性を説明する条文とする、ピックアップしています。
0:35:52	まず第 1 項についてですが、推進施設は既設の起動用中性子減用いて原子炉を起動し、給排水系による水位制御にて原子炉の反応度を整理し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:04	原子核分裂の連鎖反応制御できる能力を有する設計となっております。
0:36:10	二つ目のポツ、下、精神の実験の数が、設置許可を受けた炉心構成、核的制限値及び炉心特性の範囲内において、実験計画に基づき、
0:36:23	講師坂及び薄井に装荷する機器等を選定し、核的制限値を満足するように構成すると、また、実験余震を構成する前に、原則として計算解析を実施、核的制限値や炉心特性は言わんということを確認すると。
0:36:42	ということで、この計算解析についてはこの後、どのような計算をするかというのは説明いたします。
0:36:49	設置許可を受けた炉心構成条件の範囲内であれば正の反応度係数の絶対値の小さい、また、安全保護系及び原子炉停止系による出力性、出力上昇が制限されることで、総合的な反応度フィードバックが正となる。
0:37:06	炉心を許容できる設計とする。
0:37:09	ステージの練習の温度影響を小さく、事故時でも、温度上昇ちいされるため、炉心を設置許可設置変更許可を受けた炉心特性範囲で構成することにより、総合的なフィードバックが正となる。もし、
0:37:25	正となる炉心においても、十分な安全性を有すると。
0:37:29	小峰菅沼、三好市田。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:32	セール設備の能力と相まって主要な各適性認知について、
0:37:37	当県を満足していることに関する評価方法については1個欲しいです。
0:37:42	永年ここからの、
0:37:45	本規定に基づいて、事前に計算解析をすると説明しましたが、ここからどのような解析をするかという説明になっています。
0:37:57	説明はちょっと変わりました、原子力機構の吉川の方から説明いたします。
0:38:03	原子力の吉川です。
0:38:06	まず、先ほどありました通り具体的にはどのように計算するかという
	と、
0:38:11	デブリ模擬炉心の組成として先ほどあった通りコンクリートと鉄を2種類、
0:38:17	荻田えさ性として入れました。そして配列パターンとして、模擬体をどのように一致するかというパターンとして、今回は金光5×5とは多くⅠⅤⅡⅣというものを設定しました。
0:38:29	そして電解水は、40センチ70センチ110センチ140センチの4パターンの忍耐水をとります。その水位で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:40	ツイートしました。講師感覚として 12.7 ミリ、55 メートル。
0:38:47	2 点で、25.4 ミリメートルとしました。2 x e v o 0 ミリメートルというのは先ほどの河内坂にはなかったんです。長柴野。
0:38:56	設計条件でなかったんですけど 12.7 実のものに、
0:39:00	あれを一つあけることによって 20、25.4mm としましたでかく塑性パターン配列パターン臨界水格子間隔で臨界炉心に臨界ボロン濃度を評価しました。
0:39:12	津波最大炉心については、臨界水位ではなく、水没させた時を想定して、
0:39:19	評価しました。
0:39:22	で、先ほど言った、時間間隔とは対立パターンのイメージとして、おける炉心というのは、
0:39:30	はい、炉心中央にデブリも構造材もギロチンを、例えば 5 本ずつ装荷するパターンです。
0:39:37	若井家も誤りが棒状燃料で、白い青い丸が、
0:39:43	デブリ構造材模擬体です。このように中央に 555×5 を配列しました。そして安全盤スリット未臨界盤 III がその位置に入ります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:54	次にワンオフです。
0:39:57	燃料棒だけの、赤い丸だけの、
0:40:00	量と、
0:40:02	燃料棒と森野茂木、構造材模擬体が交互に来るような量による理由ごとに繰り返す。
0:40:12	たんです。それがこのように配列します。それを衛藤安全盤スリットとベリフィットが、このような先ほどと同じ位置に、
0:40:21	先ほどと同じ位置に入ります。はい。
0:40:24	別の方です。すぐ方は燃料棒 1 本につき、上下左右にデブリ構造材モニタリを 1 本ずつ装荷する市松模様形に、
0:40:33	超過するパターンです。これも先ほどと同じ位置に、安全盤 C P に胎盤スリットが入ります。
0:40:40	計算条件といたしましては、途中政治構造倍率の計算は M V P I I を使いました。断面席ライブラリーはジェンドル 3.3 です。
0:40:50	各特性パラメーター先ほど 30 ページにありました各特性パラメーターの計算については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:56	壇とシスと連絡 3.3 を基にした、スラックライブラリー江藤 107 群定数を宿泊したのを使いました。
0:41:07	どのようにした臨界炉心を計算するかというと、中性子高増倍率が臨界となる棒状燃料本数を評価し、小本数を臨界、
0:41:17	民間本数としました。それは核種組成配列パターン。
0:41:23	臨界注意深く評価しました。
0:41:27	暴動燃料が 70 分を超えた場合、
0:41:29	そのパターンは未臨界炉心として扱いました、先ほどあった通り、50 本から 900 本までと、あと燃料棒は 94 歳としましたので、
0:41:39	90 本を超えた場合はそのパターンは、二階堂市としては使えます。
0:41:43	この臨海炉心について、
0:41:46	原子炉停止溶融ワンロッドスタックマージンの安全評価を満足することを確認しました。満足しない場合は、臨界水位を上げ、臨界本数を下げることで、
0:41:57	その先ほど言った稟議、原子炉停止余裕ワンロッドスタックマージンを満足している場合、その炉心を臨界流入としました。上記の安全盤の評価を満足した炉心について核特性、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:10	胸郭特性値を評価し、構成範囲を逸脱しないとできました。離脱した炉心については、構成してはならない炉心として扱いました。
0:42:20	実際にどのような計算をフローかという、臨界本数をまず探します。 その臨界本数の衛藤経営警部今忠実効増倍率が 0.997 臨界、
0:42:32	今回元理事級棚をしたので、. 99 なのかどうかを判定します。0.99。
0:42:38	このときに、臨界本数が 900 本を超える、超えてる場合は、
0:42:42	臨界炉心として扱います。ぜひ超えてないときは、そのときは炉心について、安全盤評価を、の、原子炉停止及びワンロッドスタックマージンについて評価を行い、
0:42:54	それを逸脱し、超えてしまった場合はIIIを挙げて、もう 1 回元江藤臨界本数を探します。
0:43:02	一緒に臨界本数を探してまた経理部は、0.097 を超える、
0:43:07	0.97 になるような人を探します。
0:43:10	で、衛藤です。安全評価を満たす炉心について臨界炉心としてしました。
0:43:18	臨界炉心の核特性を評価し、それを逸脱してしまった場合は、厚生省のない炉心で範囲を満足した場合、炉心は構成できる人となりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:31	次に津波最大炉心及び臨界ボロン濃度の計算方針について説明いたします。
0:43:37	実験中炉心が津波より杉本だけを想定し、
0:43:41	千波水没時に委員会事項にならないことを担保するために、安全また臨 界版を2枚挿入し、そのときの中性子実効増倍率が0.995以下になる。
0:43:53	棒状燃料を評価しました。
0:43:56	50燃料本数を評価しました。この2個の炉心を積み上げた炉心とし、そ の時の燃料棒本数を制限本数として決めました。
0:44:05	この制限本数が、臨界炉心の臨界本数を下回る場合は、
0:44:11	民間与信は公正ではない炉心としては使えます。構成してはならない炉 心については、再評価を行い補正できる。
0:44:21	委員会炉心を評価しました。これについては、また後程説明いたしま す。
0:44:26	高野瀬中性子吸収材の評価として、ボロン添加実験のため、堤最大炉心 の制限本数の少ない炉心について、
0:44:36	燃料棒本数を制限本数と同じにして、泊パターンで、各パターンで臨 界言語を評価しました臨界となる本を0点。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:46	経理部が 0.9970 ダウンロードを評価しました。
0:44:51	佐古オンロード。
0:44:53	評価したボロン濃度への安全版評価を、
0:44:56	先ほどと同じように行いました先ほどってというのは藤臨海炉心と同じように、
0:45:01	超えましたと満足しない場合は先ほど水をあげて委員会本数を下げることとで、
0:45:07	再評価をしたんですけど今回はそのようなことを地図構成資産の両親として扱いました。
0:45:13	炉心特性評価も臨界炉心と同じように、逸脱したことを確認して、逸脱した方針は肯定してない炉心として扱いました。
0:45:24	津波サイド人の計算フローチャートとして、
0:45:27	安全盤の制限本数を、
0:45:30	自発的に 0.9 k 中性式実行倍率が 0.95 となる、
0:45:38	制限方法、燃料本数を探し、その燃料棒本数を制限本数としてされました。900 を超えた場合は、その 900 本の時点で、それを正殿本数として決めました。それを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:50	臨界%も同じように対応した炉心を探しました。そしてその制限本数の少ない。
0:45:57	未臨界盤が安全盤の鷺見佐渡氏を選択し、しそれが臨界炉心を、
0:46:05	本数委員会本数以下ならば、それはもう構成してない炉心として扱いました。
0:46:12	以下でないあと先生の内容を審議させました。件数以下なら、その審議の本数について、臨界ポロン濃度サーチを行います。
0:46:26	認定ポロン濃度フローチャートして先ほどの、
0:46:28	燃料も、先ほどの臨界本数は、整理本数を、燃料棒本数、
0:46:36	を同じにして、
0:46:38	中性子実効増倍が 0.997 になる。
0:46:43	動画を見る。江藤ゴムも動作探しました。その時、総理風呂モードでの安全盤、
0:46:50	強化を行います。山下で安全盤強化を満たさない場合はもうすぐ、主に構成した内容に炉心として扱いました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:59	安全評価満たす場合は、さらに炉心特性評価を行い、炉心その6人特性評価を満足する場合は構成できるし、満足しない場合は更正持参ななか炉心として、
0:47:10	ございました。
0:47:12	先ほど言った津波最大炉心、
0:47:15	もう厚生省なり、制限本数が、
0:47:20	全体本数を下回る場合についての、
0:47:25	増設なミヨシの再強化を行います。
0:47:29	臨界本数委員会炉心の本数が津波最大炉心の制限本数を越えた炉心については、厚生省が両親として示されました。
0:47:38	しかし、構成できる不審条件を手配するため、
0:47:42	燃料棒本数を精錬本数と同じにすることで、水にして水位を上昇させることで、補正できる余震を評価しました。
0:47:53	清先岡下臨海炉心について、
0:47:56	本体路線と同じように、ワンロードスタック間へと安全評価を行い、外すことを確認しました。それまで満足しない場合は、臨界炉心とは違い、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:06	後すぐに'流れ炉心としては使えますと。
0:48:09	この安全評価満足した炉心について、獲得各6の進徳設置を評価し、構成者とほぼ構成してはならない人は、
0:48:20	衛藤磯範囲を逸脱しないことを確認し、1冊炉心は交通市長の永吉として扱いました。
0:48:29	厚生省は永吉の再評価のフローチャートして、その制限本数が分解本数を下回った臨海炉心について、
0:48:38	扱います新藤臨海炉心の生臨界炉心について整理本数と、燃料棒本数を同じにして、水、そのときの臨界となる水を探します。
0:48:50	委員会となったときに、ワンロードスタックマージン及び原子炉停止お湯を満足するかどうかを確認しますしなかった場合は、校正してはならない炉心としては使えます。満足した場合は、
0:49:01	共振特性の評価を行います炉心特性値の評価を行い、満足した場合は、下野氏については構成できる炉心として再評価されます。
0:49:11	満足しなかった場合は、造成事業なら炉心として評価されます。
0:49:17	全体とフローチャートとしては、三つの
0:49:21	フロアあり、臨界炉心、最初に臨界炉心があって、臨界炉心、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:26	この委員会本数を探します。これ堤最大炉心の製錬本数、
0:49:33	ガーへと臨界炉心を下回った場合、
0:49:37	あの日触った場合、それは載せん制限本数の本数が限界炉心。
0:49:44	収まった場合に調整した後に行き、壮大な新法人は、
0:49:49	想定できる資金として扱います。で、その部品について、安全評価及び 炉心特性値を満足する場合、
0:49:56	構成できる欲しいんだ。
0:49:58	なります。ここで撮影した話になってしまった場合、
0:50:03	制限本数と燃料本数を割りにし、水遊佐水をタッチ損水で、
0:50:11	全般評価及び炉心特性値を評価し、そのすべてが満足した場合、蘇生で きる炉心としました。
0:50:18	で、臨界ボロン濃度評価は、機器といった制限本数と燃料を本日同じに し、その方針について、臨界となるれんボロン濃度を探します。
0:50:28	その書類、その臨界ボロン濃度での安全評価及び炉心特性評価を満足す る炉心について、
0:50:36	構成できる方針を明らかにしました。
0:50:38	以上が今回のH e a d胆振茂木吉井（1）の計算具体的な計算です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:45	はい。原子力機構アラカキです。この後 48 ページと 49 ページには、今回設工認技術基準規則で説明したところの法令化法令の抜粋をつけております。
0:50:58	従って、S T A C Yからの説明以上となります。原子力機構井田です。 すいませんちょっと後半の方大分ややこしい話になってしまいましたんでちょっと補足をいたしますと、
0:51:10	この話に入る前、直前にですねアラカキの方から、私どもこれから保安規定に従った手順を踏んで炉心構成して参りますと、具体的に中身を説明しますと申しあげましたけれども、
0:51:24	すでに保安規定についてはご審議をいただいております。その時に炉心厚生省炉心証明書というものを作って所内の手続きを定めて、
0:51:36	事業者として安全を確認しながら運転を進めていくという手順をご説明しましたけれども、具体的に炉心構成書作るにあたって、我々がどう考えてどういう解析をしてというのを、
0:51:49	基本方針の時にもう一度デモンストレーションといいますか、計算書でお目にかきましたけれどもデブリ模擬炉心についても、今回ですね、代表的なパターンをちょっと書きまして私ども具体的にこのようにやりますということをご説明するというのが今回の御説明の趣旨になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:07	はい細木です。以上です。
0:52:22	規制庁の井上でございます。ご説明ありがとうございました。
0:52:28	本件の内容のご説明でこの資料というのは審査会合の紙資料としても使 う、そんなイメージで、
0:52:41	よろしいんですかね。
0:52:45	はい、原子力機構アラカキですそのイメージで作っております。はい、 承知いたしました。
0:52:52	であればちょっと資料の構成についてちょっと何て言いますか。
0:52:58	ちょっとコメントをさせていただければというふうに考えておりまし て、
0:53:04	まず
0:53:08	資料といたしまして申請の概要から入って、第1編の内容第2編の内容 はこんな構成になってるかと思うんですけども、
0:53:18	まず、
0:53:19	まずですね内容に入る前にですね、S T A C Yのが概要とかを入れてい ただけないかなというふうに思いまして。というのも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:30	全体像がないとちょっとですね、今回の世相に対してのイメージがちょっと湧かないもんでして、
0:53:37	全体像と炉心でこういうマップは、
0:53:43	燃料等、
0:53:45	実験物を差し込んで炉心を構成していくんですよとか、そういった、
0:53:53	何て言いますか。
0:53:54	イメージがわくようなもの。
0:53:57	こういったものを入れていいか、いただくことって、
0:54:01	できますでしょうか。
0:54:03	はい、原子力機構アラカキです。拝承します。ステージの概要がわかる資料をまず最初に説明したいと思います。はい。すいませんがお願いいたします。
0:54:15	その次にですね当間清清野慶美みたいなものございまして、
0:54:23	へえ。いいですか、新規制基準のときにあわせてですね固体燃料の試験用にちょっと変更しましたと。
0:54:31	固体の燃料を使った試験として試験として、どんなものを予定しているのかと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:40	こういったところとか、
0:54:44	何か今回の設工認申請でも、一部段階的に何か、先ほどのお話だと、実験計画に応じて、炉心とその実験設備を作っていくんですよと。
0:54:59	こういったことありましたので、まずどんな実験を予定していて、その中で今回、今回の申請のものって何なのかという、先ほどご説明いただいたようなそういった内容、
0:55:15	そういったところを入れていただくことができますでしょうか。
0:55:22	はい、原子力機構アラカキです。はいそのようななどのような実験計画を予定、実験を予定していて、そのうち、今回のがどのような実験な様に使う。
0:55:33	設備なのか、そういうのがわかるような資料を準備いたします。はい。そういったものをご準備いただければと思います。
0:55:41	あとですね今回設工認というところで、サンゲツ基準適合性丸のものについて今回ご説明いただいているかと思うんですけども、
0:55:56	その前にですねまず、技術基準に対して0のものと、×のものです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:03	両方あると思うんですけども、それについて各条項に対してマルバツの表○×対象は0で、対象じゃないのはバツという、そういった表ですけども、
0:56:16	それとあと、何ていうか、0だと考えた理由、バツだと考えたり、そういったものを
0:56:25	資料上にも、基準石合成の話の前、前にですね、そういったものを入れていた、いただくっていう、そういったことはできますでしょうか。
0:56:36	原子力機構アラカキです。拝承いたします。設工認技術基準、全部の場についてマルバツその理由を説明した資料を追加いたします。
0:56:48	はい。すいませんがよろしくお願ひ。はい。
0:57:06	あと後ね、資料。
0:57:28	あ、すいません規制庁井上でございます。ちょっとすいません。お話す前にちょっとお伝えすればよかったのかもしれませんが、本日、コメントした内容につきましては
0:57:40	ヒアリングのですね最後の最後にですねどんなコメントがあったのかと いうところをちょっと確認させていただきたいと思いますので、
0:57:50	何ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:52	ワードとか、そういったものにご整理いただければというふうに思います。
0:57:59	そうですね
0:58:01	資料の、
0:58:02	それに対してのコメントというところで、
0:58:05	こういった形でマルバツ表作ってくださいといった、先ほどのコメントに対して、
0:58:13	どういったものを作るのかというところ、資料のイメージができ上がりのイメージがわくようなものはすべては難しいのかもしれませんが、
0:58:22	そういったものも
0:58:25	最後の、
0:58:26	まとめの段階ですね
0:58:30	ご提示いただきながらですね認識のずれがないと言ったところ、確認しながらやっていきたいと、いうふうに考えておりますけども、こういったことって可能でしょうか。
0:58:44	はい。原子力機構アラカキです。今、枠の方で1、質問の方を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:51	メモしておりますので最後にそちら共有させていただきたいと思いま す。先週機構イザワですけれども、今までおっしゃられたのはそのS T A C Yについて概要説明を入れる、それから実施計画について概要を説 明する。それから、
0:59:06	技術基準のマルバツについてそれぞれにご説明すると、この3点かと考 えております。これ以降ちょっと変えて採取、最後に共有させていただ きます。
0:59:18	はい。ありがとうございます。規制庁のありがとうございます。今のと ころ三つでございます。後程共有いただければと思います。
0:59:28	次は、続けてもよろしいですかね。はい。あと、お願いいたします。は い。
0:59:35	あと、現状の資料上にですけども、許可、許可整合性のお話というところ ろが
0:59:47	一切今んところないので、
0:59:50	許可整合性の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:52	ところがあって、今回の設工認があってといった、整合してますとい う、多分そういった流れの評価と思いますけれども、そういったもの を、
1:00:02	資料上にも載せていただくことはできますでしょうかというのもこれ、 認可基準の一つでございます。
1:00:10	書いてないとというところなんですけども。
1:00:14	はい。原子力機構の新垣です。はい。許可との整合適合性の説明書、整 合性の説明書について追加いたします。
1:00:26	規制庁の猪野でございますはい。
1:00:28	そんな形をお願いいたします。
1:00:51	あ、すみません規制庁井上でございます。
1:00:54	もう1点ございまして
1:01:00	今回対象が
1:01:04	実験、実験用装荷物の設工認というところございますけども、実験装荷 物というのが、から1までの
1:01:16	様々なものがございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:18	いうところかと思しますので、これらについてはすでに設工認で認可を受けているのか、
1:01:29	とか、
1:01:32	C Fは今回の今回ということですが、その他のB、D、G、愛知、これについて設工認でもう認可済みなのか。
1:01:45	今後この設工認が終わって、
1:01:49	またの機会に設工認申請するのか。
1:01:54	そういったところのわかるような形にさせていただくことってできますでしょうか。
1:02:01	はい、原子力機構の新垣です。今おっしゃられてる3ページの心の絵からいつの話ですが、すでに結婚に申請しているものと申請していない、これからするものありますのでそれがわかるような、
1:02:14	記載としたいと思います。
1:02:45	すいません。規制庁、稲場ですすみません、ちょっと伝え方がええわなくて申し訳ないんですけども、その範囲を示していただくにあたって何ていうんすか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:57	許可で謳ってるなんていいですか、範囲というものの、実験の範囲、実験設備であったり、その実験の範囲があるかと思ひまして、
1:03:09	これも全体があつて、
1:03:12	その中で、今回の設工認はどういった範囲なのか、結局、家認可の設工認では、どういった範囲をやつたのか、まだ申請していないものは、どういった範囲なのか。
1:03:26	申請していないものについてはいつごろ、申請したいと考えているのか。
1:03:35	そういった形の整理をしてたことでできますでしょうか。
1:03:51	そうです。
1:04:07	はい、原子力機構の新垣です。
1:04:10	現段階で、例えばなんですけど固定吸収体とかをいつ、用いた実験を行うかというのは明確な時期はまだ決まっておられません。
1:04:20	なので、ばくつとした時期、令和6年度7年度とかもファクト下敷きでよければ記載できるんですが、いかがでしょうか。
1:04:39	規制庁イノウエでございます。時期についてはそのような形で問題ございません。先ほどの全体像の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:49	今回の設工認であったり、既認可の設工認、今後やる設工認、こちらにつきましては参考資料と、
1:04:59	補足説明資料といった形で、ちょっとご提示いただければなというふうに考えてございますけども、いかがでしょうか。
1:05:11	はい、原子力機構の新垣です。はい。そういう資料について補足資料として説明いたします。はい。ありがとうございます。
1:05:35	はい。規制庁井上でございます。全体のお話はこれまでにいたしまして、それぞれの
1:05:44	編、
1:05:46	1点であったり、2編だったり、そういった内容についてちょっと確認させていただければというふうに思っております。
1:05:56	まず第1編でございますけども、第1編、
1:06:01	につきましては、
1:06:07	そうですね。
1:06:08	資料で言うところの、
1:06:13	5ページでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:17	5 ページのところで設計仕様として、デブリ構造材模擬体ん別のものと、コンクリートのものと、
1:06:27	いうところで設計仕様が書かれています。
1:06:32	こちら
1:06:35	大きさであったり、
1:06:36	鉄道作るとか、アルミニウムで作るとか、本数とか書かれておるんですけども、
1:06:44	ええ。
1:06:45	こちらの
1:06:48	使用する衛藤村石とか、
1:06:52	佐瀬とかフライス。
1:06:54	私の祖先についてこちら書かれていないと言うのは、何か理由がございますでしょうか。特にコンクリートのところなんですけども、
1:07:08	はい、原子力機構の新垣です。今言われていますのは主要材料のところ でアルミM5 期って書いてあってこれをもう少し、あれですか具体的な
1:07:19	例えばAの5万5000万とかそ、そこまでのレベルで書いてないっていう質問でしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:25	規制庁イノウエでございます。そちらではなくてもええと、逆に茂木田井って外側がアルミニウム合金、中身がコンクリートというところかと思ひまして、
1:07:36	その中身の方のコンクリート、こちらのAランク、
1:07:43	構成みたいなものって書かれていないのかなというふうに思ひましてこちらは、何か書かないニューがございますでしょうか。
1:07:53	はい。原子力機構の伊田です。これはですねコンクリートの組成をどうするかというのは、研究後は東京電力さんのサンプリング終えた後の
1:08:06	られたデータによって、機動的に変えていかなければならないと考えております。従ひまして代表的な計算といたしましては当然代表的なコンクリートを使うんですけれども、
1:08:19	この組成に関しましては、適當2の人対象何と申しますか、
1:08:26	別の認可対象とするべきではないと考えまして、ここでは組成を書かず、コンクリートだけさしていただきたいと思ひしております。
1:08:36	はあえて書かないということでございます。
1:08:40	令和特定して作りますので、實際、今どうするかというのも、研究対象になっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:56	ということでは、今回に関しましては代表組成のコンクリートで解析を行いまして、計算解析をお見せすると、そして実際の運転に
1:09:10	当たっては今回お見せした手順をもとに、組成を、
1:09:15	計算で運転を行うと、そのような出し方をさせていただいております。
1:09:26	規制庁の三好です。そちらの考え方は、
1:09:32	どう考えてるかっていうことについては理解しました。
1:09:36	これは何とか新しい考え方だと思うので、それは審査会合で、
1:09:48	議論するということになると思います。
1:09:55	承知いたしました審査会合でご説明差し上げたいと思います。規制庁金子です。東京電力のサンプリングにより、開票があるんで、例えばね、範囲ここからここまでとかそういう範囲を書くとかそういう予定は一応今んとこないんですよ。
1:10:18	はい。原子力機構の伊田です。はい現状の成分ごとに範囲といったようなことは行っておりません。
1:10:27	わかりましたわかりました横井です。また、必要であれば審査会合でお話をお聞きしたいと思います。お願いします。承知いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:37	ちょっと関連して、多分それ、そういう考え方だから危険だと思いますけど。
1:10:43	パワーポイントでも、申請書がいいんですけど検査のフローが、
1:10:51	わかりますね。
1:10:55	Aと。
1:11:00	そうそう、何ページ、15ページ。
1:11:05	要はパワーポイントの15ページ。
1:11:09	ねえ。
1:11:10	コンクリートの工事フローというのがありますけど、是枝とコンクリートについては、
1:11:17	入手構造 t h e 合同等、
1:11:20	検査と、
1:11:22	いうことで、
1:11:23	これについての何ですか。
1:11:28	最後に、
1:11:29	組成等についての検査が入ってない。
1:11:36	と思うんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:39	これは今のよう、今回は代表性のある、
1:11:44	代表性というか、ある。
1:11:49	女性の人を仮定して、
1:11:52	計算をしてるのでこの、
1:11:55	長期工認では、
1:11:57	材料検査はしないと。
1:12:01	ふうに理解したんですけど、それでよろしいですか。
1:12:07	はい、原子力機構の青木です。その理解の通りです本プリントについては、材料を特定することが難しいということで今回材料検査を記載しておりません。
1:12:19	わかりました。しました。
1:12:26	はい。
1:12:30	ページのイノウエでございます。第1編関係、その他でございますでしょうか。
1:12:46	カネコです今の関連してね、詳しい話は審査会合でいきますということを申し上げました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:54	例えば、東京電力からのサンプリングのデータをもって作るんですということだったので、それを待っていると、やっぱり都合悪いとかそういう理由があるんですよね。要は今説明しなくていいですけども、何かそういう理由はあるんですよね。
1:13:10	原子力機構、段数、すいません東京電力さんのサンプリングというのはちょっとたとえでありまして、緊急シャーがばあば田井関井したり、
1:13:22	して、今興味のある組成を決めておりますので、
1:13:28	それを、それをもっていろいろ機動的にやっていきたいということでございます。
1:13:34	やっぱりそれを待って、設工認取るのは遅くて、
1:13:38	設工認取ってからそういう研究者の興味があるものをやるっていうそういう考えということですね。
1:13:48	はいそうです。実際作る時に決定したいと考えてございます。わかりましたわかりました。はい。
1:14:00	はい規制庁、おはようございます。はい。ありがとうございます。
1:14:04	それでは第1点よろしいですかね。
1:14:08	要は第2編に入っていきたいと思うんですね、閉炉心の評価のところ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:15	思いますけども、
1:14:19	とって、私の方がちょっと何点か質問させていただければと思います。
1:14:26	資料でいきますと 31 ページ。
1:14:33	の設計仕様というのが、
1:14:47	A と設計しようというところで、表の下の方、主要な実験設備新設と、
1:14:55	いうところ赤字、赤字で書いていただいている部分なんですけども、今回 デブリ講座模擬体と書かれておるんですけども、
1:15:06	一辺の方では実験装荷物として、燃料試料挿入管であって、内挿管、
1:15:14	運営等、製作 S I M M E R すと、
1:15:17	いうことかだったと思うんですけども、
1:15:21	この第 1 編で作る電量資料挿入管であったり内挿管を用いた、
1:15:28	炉心形成って、今回は、
1:15:31	しないということでしょうか。
1:15:40	えっと原子力機構の新垣です。はい。まず第 1 編では、芦田の三つの実 験設備を申請しております。そのうち、
1:15:50	これまで基本炉心の設工認申請書を出してありますがそこから、
1:15:55	大きく変わる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:57	実験内容としては、今回やっぱりデブリ茂木小堀構造材模擬体の血とコンクリートを炉C装荷したものが、基本炉心から大きく、
1:16:06	原子炉特性が変わるものと考えております。
1:16:11	それ、それにつきまして今回、李防災協議体を装荷したものを、まず、デモンストレーションのような形で計算の結果を示しております。
1:16:21	で、他に、燃料資料挿入管でございますがそれについては中空の中からの下の中に、
1:16:33	デブリを模擬した燃料、コンクリートと混ぜ合わせたものを入れるものなので、このデブリ構造材模擬体の
1:16:41	炉心よりは背基本方針と離れていないかなと。デブリ小麦、
1:16:48	体の写真を見ておけば問題ないかと考えております。三つ目の大相関につきましては、中に
1:16:56	その眠りのようなものを入れるものではなく、検出器等、その入れるつ入れて使うものでありますのでこちらについても、特に改めてここで計算のデモンストレーションを示す。
1:17:09	ではなく、また内装化については、基本炉心の性能を大きく変化させるものではないと考えておまして説明を省略しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:20	はい。規制庁井上でございます。なので基本炉心から変わる部分。
1:17:29	について着目してやったと。だから燃料使用挿入患者って内挿管は実際に使うん。
1:17:36	使っていきます。
1:17:38	ただ、解析の代表条件としては、
1:17:43	大きく変わるデブリ構造。
1:17:45	構造材も期待をやっておけばいいであろうと。
1:17:50	そそいったことでしょうか。
1:17:53	はい。原子炉機構飯田です。おっしゃる通りです。このデブリ模擬炉心というのを、特徴づける実験装荷物がデブリ構造材みたいであるという意味で、このような記載となっております。
1:18:08	はい。規制庁の三吉です。ちょっと今のあれに関連して確認させてください。ちょっと最後に質問まとめるということなんで、
1:18:19	先ほどの1辺のことについて、1. のところではコンクリートの、
1:18:24	材料検査がない理由を説明してもらいたいというそういう形でまとめといてもらう。
1:18:30	それから、今のお話ですけど、要するにどういう炉心で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:37	今いろいろこの炉心で解析してると、解析すれば、設工認の申請書としては十分だという、そういうことが、
1:18:50	を確認する必要があると思うので、
1:18:53	今、口頭でご説明ありましたが、その辺について少し説明、審査会合での説明し、
1:19:05	わかるようにしてもらいたい必要があると思う思っています。
1:19:10	結局
1:19:13	あとで、後でも出ますけど、
1:19:16	どういう炉心まで考えて、この設工認で、
1:19:22	むしろあのね、
1:19:24	評価をして、あと当然それに対する検査をやるわけですけど、素行がポイントだと思うので、ちょっとそういうことを念頭にあと資料を作っていたいただければと思います。
1:19:38	いやいや、あと今の説明で、
1:19:42	コンクリートとかさすんですね、いわゆるデブリ模擬体っていうのが、今 25 本、最大 25 基入るものもあるんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:53	要するに、そういうもので解析、最初のパターンはしてますけど、要するにそれ25ってというのは
1:20:03	もうそこそこまで、ああいうパターンですか。
1:20:07	である場合は25掛け5が最大なのか。
1:20:12	実際一般の方で製作する者数としては75とかいう数字も出てきてますよね。
1:20:18	そうすると、そういうものまで、
1:20:21	入れることも考えているのか。
1:20:25	ちょっと今の申請書なり説明資料で読めないんで、
1:20:29	そういうところも
1:20:31	どういう、最初に出ましたけど、
1:20:34	ウェブに催しんっていうので、どこまでの、
1:20:38	範囲を考えているのか。
1:20:41	そのことを前提に、
1:20:45	この数の数、
1:20:48	設工認申請書では、こういう解析をしてますというそういうす。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:53	説明をいただく必要があると思いますので、ちょっとそれは説明として、
1:21:01	考えの一つとして考えてください。
1:21:07	どうぞ。はい。
1:21:11	どうぞ。こちらの一つか伝わりましたか。
1:21:14	はい。代表的な原子炉機構に出す、今回お見せしている代表的な炉心、その代表的な炉心を選ぶにあたってどのような考え方があるかということとを説明するということと理解いたしました。それで結構です。
1:21:34	はい、ありがとうございます。
1:21:37	引き続きでよろしいですか。はい。すみません。規制庁、井上でございます。
1:21:43	資料でいうと、35 ページでございます、
1:21:50	先ほどのお話ありました、こういったパターンを選んでもものの全体像と代表、
1:21:57	代表炉心といえるといったところを書いていただけると、いうところでしたけども、その下の方に最後の兵頭上、津波最大炉心、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:09	水没させたパターンで評価してますよと、いうそんな旨が書かれているかと思いますが、これをこの水没評価っていうの、
1:22:20	やってる理由についてちょっと書いていただけないかなというふうに思っています、唐突でちょっと、何でこんなことをやってるのかと。
1:22:30	いうところなんですけども、そこを書いていただければと思います。これ多分許可に書いてある内容かと思いますが、そういったことでできますでした。
1:22:39	はい、原子力機構の新垣です。津波最大余震についてちょっと、確かに言葉の一言では伝わりにくいと思いますのでどういう意味を持った経過をやってるかっていうのわかるようなスライドを追加したいと思います。
1:22:52	はい。規制庁伊奈です。すみません。よろしくお願いいたします。
1:22:57	同じく 30、同じく 35 名ちょっと順番がバラバラになってすみません。1 個上の、
1:23:06	こっちですかね。臨界ボロン濃度を評価しましたという、そういったものが書かれておるんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:15	ほう素濃度って残そうってのは第1編で言うところの実験層厚物の1 の、
1:23:25	可溶性中性子吸収材を用いて、
1:23:29	炉心に入れていくのだと考えておりますけども、
1:23:35	こちらについては可溶性中性子吸収で、これで設工認が進んでいると か、そういったものでしょうか。
1:23:50	原子炉機構の石井ですけど、こちらについては、基本炉心位置の中で、 すでにバグでは対応して中性子吸収で変化するというところで、設計仕 様に書いてあるものがあります。
1:24:04	規制庁イノウエでございます。だから基本設計、炉心を、設工認です で認可済みだと。
1:24:12	そういった、そういったご認識ということですね。
1:24:18	はい。出向の医師です。はい。おっしゃる通り、
1:24:22	傾聴イノウエでございます。承知いたしましょうか。
1:24:30	白根実行医師ですけども、補足しますとこのポイントの31ページ見て いただくと、今回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:40	足のところに、正式するかというところを書いてありますんでここで吸収するというのは読めるというふうになっております。
1:25:04	規制庁、井上でございます。
1:25:07	何ていうか、今回の申請で認可をねらっているのかすでに基本設計、基本炉基炉心の方で、
1:25:19	認可済みなのかっていうとそれはどちらなのでしょう。
1:25:26	ちょっとそこはっきりしちゃってですね。
1:25:32	原子炉機構の井田です。実験総括調整中心吸収材に書いてありますけれども論はやっぱり溶かすと、なくなってしまうといいますか、組成が変わって水してたら消えてしまうものですので、
1:25:45	なんていうかものとして、関公認を取るというよりは、それぞれの炉心の中で、多様性中性時代、吸収材を加える。
1:25:56	炉心の設工認を取るということで開放性中性子吸収材の設工認をいただくというそういう形になろうかと思えます。
1:26:08	規制庁、井上でございます。何ていうか、イメージとしてはだから、主役のビンビンで実験ごとに溶かして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:18	実験終わったその水も捨ててしまうので、設備として残るもんじゃない んですと。
1:26:26	なんで高瀬設備として設工認というよりは、
1:26:29	条件、こういった条件でやりますというところで、設工認を、
1:26:35	取っていくと、そんなことでしょ。
1:26:39	はい、原子力機構の飯田です。はい。おっしゃる通りです。
1:26:45	はい。ありがとうございます規制庁、そうすると今回のところでも
1:26:51	可溶性中性子吸収材の条件というのは、
1:26:55	対象ということでしょうか。
1:26:59	やっぱり何か言う。
1:27:01	はい、原子力側ですはいおっしゃる通りです基本炉心と同様に、デブリ 模擬炉心についても可溶性中性子吸収材を加える形で認可いただきたい と思っております。
1:27:56	議長の三好です。ちょっと今のことに関連して確認したいんですけど も、許可の段階では、ちょうど今日最初の
1:28:06	方の、
1:28:08	パワーポイントで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:10	どういう実験予想か物を使うかっていう、
1:28:13	その中に、
1:28:15	可溶性中性子吸収材っていうのがあって、
1:28:19	これは、
1:28:20	基本炉心でも、これを使ったときに、
1:28:24	どういう炉心が含めてとかいうそういう評価があったと思いますけど、 それと同じように、
1:28:31	今回も、
1:28:35	堀井。
1:28:36	に関係したものを挿入したものにプラス、
1:28:41	介護請求書対ボロンのボロン濃度を入れたときにどうなるかと、そういう形で、記載しているという。
1:28:50	そういう理解でよろしいですか。はい。原子力伊田です。おっしゃる通りです。ご理解の通りと思います。
1:29:02	だからそれで基本的にボロンとかガドリでもそうだけど、要介護に対して何分の1とか当然そういう制限は、はい。はい。入るわけで、
1:29:13	そ令和許可ではそういう数字って入ってたと思ったんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:20	要するにここでの並んでる数字は、当然制限を満たしている数字になってると、そういう理解でよろしいですか。
1:29:31	はい、原子力機構の新垣です。はいその理解の通り許可を満足する。
1:29:36	ように設定いたします。
1:29:42	規制庁のミセスですから書いてある内容と、
1:29:47	求め方については一応理解しましたけど、
1:29:50	先ほどの
1:29:53	議論で、どういう炉心でのその評価が必要かっていうことについては、 本当は議論になるん。
1:30:02	審査会合で、
1:30:04	示していただければと思います。
1:30:09	はい、原子力機構の新垣です。承知いたしました。
1:30:14	あ、規制庁カネコ例数今関連して、ちょうど、
1:30:18	3 ページに、
1:30:23	実験用装荷物は次の設備から構成される、なんちゃらかんちゃら かんちゃらで1 で下岩瀬中性子吸収材ということで、
1:30:34	設備ですっていう、エントリーをしているように見えるんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:38	なので、許可に関する設工認がすべて出されたのかという整理をするときに、1はもう出されたという認識でいいんですか。
1:30:49	これから出るんですか。
1:30:52	F a c e b o o k 戸井田です。はい。1種はでたという意味では出されたと申し上げられるかと思えます。ただ評価の中で想定されている中性子吸収材は何種類ありまして今先ほど三好参与が、
1:31:10	打ち出されたようなガドリニウム等ですね、今後それらが出ることもあり得るということでございます。一つ出たという意味ではすでに出されております。
1:31:21	規制庁金子です。1がさらに言えば、分けることができるってことかしら。
1:31:28	はい原子力リーダーはいおっしゃる通り、現地の中に複数種類ございましてそれは今後対応、複数種類でき想定し得るものでございます。
1:31:41	あとHの中の一部はすでに出てるけど、残りのうちの幾つかはまだこれから出てくるってそういう整理ですか。うん。
1:31:51	阿部新保伊田です。はい。出てき得ると考えております。
1:31:59	んとね、申請。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:03	漏れていうことを考えるとね、出てきてるのが出てこないんだが、よくわかんないとねこっち困るんですよ。
1:32:10	そこはちゃんと整理できますよね。
1:32:17	原子炉協議会です。挙カーの段階である程度何とといいますか、将来の運用を見据えて枠取りのようなところはございます。従って、もうこれが出てこないのかと言うことはなかなかご説明しにくいのかなと考えてございますが、
1:32:39	とりあえず今の感触はわかりました。また、整理します。
1:32:58	経営者は成長イノウエでございます。
1:33:02	今回デブリ模擬炉心に対してですね沖積地増倍率の評価をしていただいてるかと思えますけども、こちらの計算モデルについてちょっと
1:33:14	資料上ですねと。
1:33:18	あまり触れていないように思いまして、
1:33:26	なんですがこちらの計算モデルの体系とか、
1:33:33	なんかさ、中性子の反射条件とか、
1:33:37	そういったものがわかるように記載していただくことってできますでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:47	原子力機構の新垣です。はい計算条件について反射条件と、1より詳細に期待したいと思います。
1:33:57	規制庁のミヨシ説、そこで結局筧さんやってるので、設工認の評価については、例えば水平断面水平断面のある程度予想つきますけど、あと垂直
1:34:12	断面D結局炉心タンクも入れてるのか或いは、
1:34:18	もうそれは水は井坂伊井で、例えば30センチ以上でやってるのかとか、あと下部の、モンテカルロ使ってるんでしょうから、によっては、
1:34:29	結構精密に入れてると思いますけど、その辺少し、
1:34:34	図としても入れてもらいたいというそういう趣旨です。
1:34:41	原子力機構アラカキです。はい。そういうモデル等について、より詳細なものを追加したいと思います。よろしくお願いします。
1:34:58	成長期イノウエでございます。引き続きですかも
1:35:04	今回実効増倍率計算の評価結果というものを
1:35:12	競合されていて、そん中でですね
1:35:17	プラス3 σ の値だけ今回示されてる、申請書上ですかね、示されてるか と思いますけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:26	実際の計算値とプラス 3 σ 、
1:35:33	こういった間方観点です。
1:35:35	基準値、
1:35:37	との比較と、
1:35:39	いうところを比較がわかるようにして、伊勢いただくことってできます でしょうか。
1:35:45	また計算条件モンテカルロということで
1:35:51	やられていて計算ヒストリーも多分、なかなかの数をやられてるかと思 いますのでそういった、
1:35:59	計算ヒストリーの条件とかについても記載いただけますでしょうか。
1:36:11	現象機構成瀬一つすいません確認させてください計算値+3 σ だけでは なくて計算値とプラス 3 σ 系、嶋危機クライテリア、
1:36:24	はい。
1:36:24	それからヒストリー数等の計算条件という理解でよろしいですか。
1:36:31	三好ですそれで結構です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:35	要は今これは 30 万足したものになってるので、ちょっとヒストリーとも書かれてないので、あと、いろいろな記載未記載ミスとかそういったところで、何かあったときに、ちょっと問題にもなるので、
1:36:54	要するにデフォルト、いわゆる平均値ですね、デフォルト値 $\pm 3\sigma$ と言う形で書いていただいて
1:37:04	基準値と比べると、
1:37:06	臨界設計の方はそういうふうにしてること多いんですけど、これ核設計でもあるので、その辺を表に出していただきたいというそういう趣旨です。
1:37:21	原子力機構の新垣です。確認なんですが、この計算値プラス、
1:37:27	3 の $\pm 3\sigma$ の話は今回のこの日、審査会合で使う資料に記載するというわけではなく今後補正とかの段階でそういうふうな記載をする。
1:37:38	ていうコメントでよろしいでしょうか。それちょっと審査会後の資料のちょっと位置付けがわかりませんが、それでいいんじゃないかと思えます。
1:37:48	瀬田会合で改めてこの辺を、こちらとしては、お伝えして、
1:37:54	と思ってます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:56	集配原子力機構の荒牧です。はい。承知しました。その実際の計算値と ±3σについてはその申請書の方で、報告ということでこのクライテリ アとかヒストリー数等については、
1:38:10	この審査会合資料にも入れると可能ですので、そちらについては記載し たいと思います。
1:39:03	井坂後資料にも、もう変更の一つとして入れてもらえますか、記載につ いて。
1:39:12	院長の三好ですけど、
1:39:16	はい、原子力機構の新垣です。この計算値とプラス3市側のところを、 今回のこの資料の中で、こう記載しようとした時にどこら辺にこう書く ってというのがちょっとイメージがまだ湧いてないのですが、
1:39:31	ちょっとそういう時はわかりましたじゃ
1:39:38	今回は資料の中にはそ、
1:39:42	審査書にあるような、
1:39:44	K + 3σっていう数値自身の表がないので、
1:39:49	それはいい、いいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:52	なんかで計算結果の例として何か載せるっていう手もあるのかもしれないけどね。うん。今回その辺までは、このパワーポイントは踏み込んでね。
1:40:08	原子力機構の新垣です。はい今回の資料としましては、この各計算解析をどのような手順で行っていくかということを説明してまして、この計算結果の値がどうっていう資料にはなっておりませんので、
1:40:23	資料の構成ということもありますので今回の
1:40:28	計算値と刷新の話は、ヒアリング資料には織り込まず、今後、申請書の補正の段階で明確になるような、
1:40:38	形で、
1:40:40	反映したいと思います。
1:40:49	はい。今のやり方は一応理解しました。
1:41:45	理事長の三好です。
1:41:50	検査とも関係するんですけど、
1:41:53	ここでは、
1:41:58	核的制限値の検査項目として臨界管理委員会、カラー3ロードスタッフ、それから全景とその三つのことが書かれているんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:10	その核的制限値について言うと、例えば最大過剰反応度とか、
1:42:16	反応度添加率、
1:42:19	そういうことについての確認も、
1:42:23	それは初回臨界検査のところで行うということなのかちょっとそこは核的制限値として、
1:42:32	このパワーポイントに、
1:42:34	その中の表にもあったものが出てきてない。その理由は何なんだろうかね。そこをちょっと、理由は何かっていう、そこを載せてない理由を、
1:42:45	説明してもらいたいんですけど。
1:42:50	はい。原子力機構の新垣です。この初回臨界検査の中でその最大過剰反応度とかそのような項目は確認します。
1:43:03	そういうことになってるってことですか。
1:43:09	はい、原子力機構の荒牧です。そのような考えでおります。
1:43:15	そうするとちょっと
1:43:22	そういうことは、この資料の中で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:26	入れてもらいも入れておいた方がいい、いいのかなっていう気がちょっとするんですけどね。
1:43:42	そういう意味での、
1:43:45	両方が、
1:43:47	直線じゃないかな、別に世界流体検査でそういうことが何をやるかってこと。
1:43:55	すべて
1:43:57	ものについてはすべてっていうか、提言として今、
1:44:01	大木さん
1:44:04	担保しなきゃなんないものについては、検査の中でやりますっていうことを、
1:44:09	明確にしてもらった方がいいと思うんですけど。
1:44:15	原子炉機構飯田です。確かに私も毎回到運転するために、他運転するときに、やりますので、初回臨界検査の中でやりますと言いました検査項目として、
1:44:28	この徳田氏降るかというのと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:31	タイプの装置の場合は、臨界水位によって決まるものなので基本炉心と変わらないということで、
1:44:41	あえて神久呂寝具、基本年以外で特出しするということは指定して、しないでいい、いいと考えて、書いてございます。
1:44:52	うんじゃそれ、町ソレイユなのであれば、今日の質問項目として、
1:44:59	説明をもう一つに入れておいてください。
1:45:03	要は、ちょっとハードだけやったんですね。そうそう。それで今の、
1:45:08	話と関連するけど、あまり変わらないっていうのはそっちしてるんだけど、中にそのね、どういう炉心までやるかっていうことにもよりますけど、
1:45:19	今後のかんりの量で入れたりすると多少、
1:45:22	その基本炉心よりも厳しくなったり、ごっちゃになったり小さくなったりすると思うんですね。
1:45:30	その辺についての
1:45:33	説明っていうのも、まず知っていると思ってるんですよ。
1:45:37	それは今のお話の中ですればいいと思ってるんで、
1:45:43	とりあえず、今日の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:48	松井、説明をし、説明としては
1:45:57	いえ、米がそこを入れてない利用、先ほど口頭でもお話になった部分について、
1:46:08	説明してもらえればと思いますが、
1:46:11	はい。原子炉機構井川です。はいハンド添加率等の検査をやるにはやるとしても、検査項目として、徳田氏品でいいという、
1:46:22	私どもの考えについてちょっとご説明させていただきたいと思います。 はい。お願いします。
1:46:34	あ、規制庁カネコだって今の検査項目の話なんですけど。
1:46:39	これ基本的 2
1:46:42	検査側と事前に検査項目のすり合わせとかそういうことをやるんですか。
1:46:48	8年にというのはなくて、この設工認の審査の中ですり合わせるとか調整するものだと思っております。
1:47:02	わかりました検査課検査部門とは一応ちょっと気になったのは、性能検査の合格基準は設工認に係る工認通りがあることっていうふうなことになるはずなんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:16	法令に変えた技術と同時にもうこれは性能検査の検査項目なんじゃないかなあと一瞬思ったんですけど。
1:47:24	あそこは審査の過程ですね。了解です。
1:47:31	はい、ありがとうございます。ただ、セツツ公認関係。
1:47:37	その他ご質問等ございますでしょうか。
1:47:42	通常のニュースです。これ質問ということでもないんだけど、
1:47:48	申請書の方ですね、
1:47:53	ちょっと先ほどの学籍制限値の
1:47:57	反応度添加率とか、その辺で、はい。
1:48:04	申請書で、パワーポイントにはこの結果ないんで、申請書の方で言うと、添付4の両括弧2のうち、どこでもいいんだけど62。
1:48:17	は実行校長じゃない。
1:48:25	反応度添加率っていうのが、この表では出てきてたと。
1:49:01	それから、4-2-6、例えば63人さんとか64に、
1:49:08	水反応度係数っていうのがありますね。
1:49:15	でこれで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:18	これはちょっと先ほどの議論と関連するんだけど、これに掛け10のマイナス3乗以上で、
1:49:26	6ヶ月10のマイナス20以下っていう、そういう判定なんですけど、これは、
1:49:33	どういう数字なのか、ちょっと教えてもらえますか。
1:49:38	はい。原子力機構の新垣です。こちらの許可書に書いてある値の範囲になっております。
1:49:47	許可書でこう書いてあると。
1:49:51	はい原子力機構の荒木でその通りです。須藤。この2ヶ月10のマイナス3乗というのは、
1:49:59	それよりも、
1:50:01	大きい。
1:50:09	要するにこれはあれですがある炉心での140センチのところの、
1:50:14	水反応度係数だっていうことでもいいのかなとすると、
1:50:19	6.0910のマイナス20っていうのが、
1:50:24	最低限の数字野呂DOTだって、そう理解すればいいんですか。
1:50:34	原子力機構の新垣です。その理解の通りです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:45	わかりました。ただ要するに、こういう判定条件を使って、
1:50:51	800 制限値そのもの、
1:50:55	ではなくて、
1:50:57	こういう期待をしてるっていうことで、これは基本写真でもそうしてるんですか。
1:51:02	原子力機構の新垣です。はい。今回の計算、全般的に基本炉心と同じ計算を行っておりまして、この辺反応度計算についてもよろしいと全く同じです。
1:51:14	はい。自治体の今の現状を理解しました。はい。
1:51:20	もう 1 点だけ。
1:51:23	ちょっと先ほどの説明で、
1:51:28	職場の方の構成してはならない部品の再評価方針っていうさ。
1:51:34	ちょっとまだフォローすきれてないんですけども、
1:51:40	ちょっとこれ見てからまたお聞きしたいと思いますけど、
1:51:48	結局
1:51:50	大きな流れとしては、
1:51:53	津波の話があるんで、当然津波の方で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:58	炉心に装荷できる。
1:52:01	本数なり、
1:52:02	ボロンの
1:52:04	濃度なり、そういったものが制限されると思うんですけど、
1:52:12	その津波の増。
1:52:15	それをそういう制限がつくってということによって、
1:52:20	そういう制限がなければ、
1:52:24	構成できる炉心
1:52:26	宇和。
1:52:29	調整できないと、そういったところを明らかにしようっていう、そういう施設なんですかね先ほどの説明はします。はい。先週、戸井田です。 おっしゃる通りでして、津波の条件やワードと泊マージンや、その様々な炉心パラメーターの範囲によって、
1:52:46	構成してはならない炉心というのができます。既許可書に書いてある条件をはみ出すような、そうしますと、傍線しちゃならない炉心がわかったら、ちょっとパラメータをいじりまして、じゃあどこまでだったら校正していいのかっていう、境界を明らかにするっていうことを行いま

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	す。そうするとどこまでやっていいのか、どこから先は駄目なのかという
1:53:06	ことがわかるという趣旨でございまして、
1:53:09	それは構成してはならない炉心の再評価という評価です。
1:53:17	うん。そういうんじゃちょっとこれ最後にしますけど、そういうものは申請書のほうでは、
1:53:23	どう読め、どこを見ればそういう操作をしたことがわかりますか。
1:53:31	例えば、
1:53:34	普通だったら、構成できるけども、
1:53:38	津波考えると、構成範囲が狭まる。
1:53:42	定めなきゃならないと。
1:53:44	その調整を、
1:53:46	するために先ほど何か水を上げるとか、だから、説明あったけども、その結果として、その表に、今の
1:53:58	フローチャートで、
1:54:00	制限がついた炉心というのは、例えばどこにあるんですか
1:54:04	申請書で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:07	主蒸気行為ライフ評価書の最後の、
1:54:12	最後の最後になります要するに解析の途中で構成してはならない炉心と いうのを特定しまして、パラメータをいじって再評価した結果というの が、計算書の最後になっております例えば具体的には 69 ページ 70 ペー ジというところに、評価結果の表がございます。
1:54:41	6970 規制庁のミヨシです。この辺は、津波の制限がなければ、
1:54:48	校正してもいいけども、
1:54:52	それを考慮すると、
1:54:55	構成できないと。
1:54:58	そういう意味ですかこれ。
1:55:03	69 ページが炉心の条件で、あと、70 はその度パラメーターと、そう いう業務ということですか。ちょっと読み方で申し訳ないんだけど、
1:55:15	はい。はい、原子力機構の新垣です。そう。そうですね 69 ページが、
1:55:20	構成してはならない炉心について再評価するときの炉心の構成で、70 ペ ージ以降がその評価結果になっております。
1:55:34	ちょっと 1 点だけ申し上げるとね、炉心構成できない範囲の炉心の解析 をここに載せるっていう意味がよくわからないんですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:45	要するにここまでだったら添構成できる。
1:55:48	炉心だっていうことがわかった上で、こういう表を作るならいいけども、
1:55:55	何か部構成できない炉心についての、何かそういう特性っていうのは、そもそも構成できないんだから、
1:56:05	申請書に載せる範囲じゃないんじゃないかっていう、そう思うんですけど。
1:56:11	ちょっとその辺についての見解を整理していただきます。これが一つの質問です。私の、
1:56:23	簡単に申し上げれば、こっち構成できないとわかった炉心について申請書に載せる意味はあるんですかっていう意味があるという。はい。原子炉機構伊田です。まず、
1:56:36	これをどうする、申請しているというよりは、その構成できる炉心を探す過程を計算書として参考水添付の資料として添付していると。
1:56:51	ということでございましてこれ申請しているわけではございません。こういう解析をこういう手順を踏んで構成していい炉心とできない炉心を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:02	峻別して私どもは運転いたしますという手順をご説明差し上げるという趣旨でございます。
1:57:07	これ、構成すると言って申請してるわけではございません。
1:57:13	いや、構成できない炉心なんだから当然構成実験はできないんですけども、要するに手順を示すためにこういうものを載せてるっていう、そういう説明ですか。
1:57:24	その通りですこれも基本の新川でございまして、臨界実験、STACYがですね、どういうふうに炉心を構成して運転していくのかという手順をお示しすると。
1:57:35	いうことを、ご説明してます。これは許可の審査の時からのお約束でございまして、この後段規制で手順をご説明しながらやって参りますという、
1:57:49	形をとらせていただいて許可いただきました。そのようにご説明しながら、はいやってございます。
1:58:00	そうするとそういうところって何か割と重要だなと思うんですけどね。
1:58:04	審査会合で説明として、内容として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:09	はい。承知しました先ほどコメントの中にもありましたように、これからこういうことをし、ご説明しますという背景の部分の、
1:58:19	背景というか、要は、
1:58:25	警備員まあそれさっきのね代表性的の話ともちょっと絡むと思いますけど、
1:58:30	でもそれも、あくまで
1:58:33	パワーポイントの私の考えでは、パワーポイントってのは申請書の中身、申請書の趣旨を説明するものだから、
1:58:41	そういう意味では、今言われた、
1:58:44	こういう申請書の方、
1:58:49	溶融炉心を、今ここでは評価してるかとか、
1:58:53	手順としてはどうするかとかまあ、これ、一部そのPower Pointで、
1:58:59	全体の計算フローチャートっていうのは出てきてるけど、これもちょっとその具体的にどういう炉心で評価をするとか、なんかそういう、そういうのを入れると、非常に説明としてはわかりやすくなるんじゃないかなと思いますけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:17	はい。原子力機構井川です。はい。計算手順をお示ししている趣旨がわかるような書き方にさせていただきたいと思います。
1:59:29	これ結構枚数とってるけど、先ほどのような説明はなかなか、
1:59:36	会社に聞いても、
1:59:38	わかりにくいと思うんです。
1:59:41	わかったけど、人によるかわかんないけど、
1:59:47	あります。
1:59:49	ちょっと具体例でも入れといてもらったほうがいいかなっていうのはちょっと私の
1:59:54	個人的な。
1:59:56	そうですか。
2:00:00	はい、井田です。承知しましたちょっともうちょっとわかりやすくなるように工夫して考えたいと思います。
2:00:12	新村ですけどちょっと時間が、
2:00:16	過ぎちゃったんで、1点だけ、申請書の、についてなんですけど、
2:00:22	今回の実験設備は耐震Bクラスということで、耐震Bクラスっていうのは、耐震計算書はつけなくてもいいっていう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:32	運用になってるんですけど、あえて今回、耐震計算書をつけた理由って何かありますでしょうか。
2:00:43	原子炉機構イザワです。B、Aと耐震Bはつけるのではないかと理解しておりました。付けなくてよろしいか、耐震C。
2:00:54	値はなしという、BCはなしなんですけど、BCがな。はい。その代わりにBCの場合は処理場とかの設購入を見てもらえばいいんですけど、簡単な
2:01:10	基本、基本方針みたいな、
2:01:13	のを、住まい付けたもので、
2:01:18	まちか代わりにし耐震計算書の代わりにしているという、
2:01:24	ことなんですけど。
2:01:27	特にらつけた理由はない、ないないっちゃうか、すべきものだと思ってたからつけたというそういうことですか。はい。現状機構の石井ですけども、耐震計算書はBクラスの場合は何か代表例なんか一つつけるみたいなのが、
2:01:45	確かに規制庁さんのペーパーであったかなと思って今回はつけたんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:51	B Cはもういらないうことでしたっけ。そういうことであれば、 ちょっと
2:01:59	そうそう、ちょっと我々ちょっとそういう認識がなかったので今回はつ けましたけども、方針だけであればいいということであればちょっとそ のように変更したいかなとは考えております。
2:02:10	はい。耐震警察署室がSだけというふうに今なってるので。はい。
2:02:20	はい、原子力以外です。ご教示ありがとうございます。承知いたしまし た。
2:02:28	上位は今日、
2:02:30	町へ復旧、実際、文章で示して共有した方がいい。
2:02:34	うんうん。
2:02:38	顔見ても、エスクロー少ないでしょしてるし、全然。そっか、そもそ もないですね。うん。そう。そう。
2:02:53	X方向、
2:03:01	今じゃなくてもいいってそうだと言ってきたのか、根拠的なものもある んですか。
2:03:09	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:11	昔からどうぞ。
2:03:15	県庁イノウエでございます。先ほどのところはAとBのものについては代表例がいたっていたので今回、今回の申請では、計算、耐震計算書をつけましたと。
2:03:30	ということだったと思います。そう、そう思った、なんていうか、同意書って、どれでしょうか。ちょっと後程、
2:03:38	ちょっと次回にでも教えていただければと思います。はい、結構イシイですけども。はい。ちょっと探して送る、送る人を送るというのはあれですけど、
2:03:51	連絡します。
2:03:54	承知いたしました。ありがとうございます。こちらも、こちらもいろいろな文書で示しますんで、
2:04:02	はい。規制庁イノウエです。こちらも
2:04:06	耐震CとBは何か計算書いらないといったその根拠となるのこちらも
2:04:14	お示ししたいと思いますのでよろしく願いいたします。
2:04:21	はい。原子力の伊田です。承知いたしましたありがとうございます。
2:04:32	はい規制庁の井上でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:34	それでは設工認関係はよろしいですかね。
2:04:40	はい。
2:04:48	はいそれでは設工認関係と出揃いましたので、設工認関係のまとめをしたいと思います。
2:04:59	本日の湖面コメント集みたいな、こうやって、うん。
2:05:06	画面共有できますでしょうか。
2:05:09	はい、原子力事故です。今、共有いたします少々お待ちください。
2:05:15	はい。
2:05:25	原子力機構の新垣です。Wordで見えてますでしょうか。
2:05:30	規制庁の飯田でございます。見えてございます。
2:05:37	はい。本日、コメントありましたまず一つ目がステージの概要をスライドに入れること、二つ目、実験計画の概要をですね、こちらを追加すること。
2:05:49	あと技術基準との適合性で、今回、丸のものしか言ってませんでした が、マルバツすべて入れてその理由を説明することと、
2:05:59	次四つ目が、許可との整合性の説明資料の追加になります。
2:06:05	その次が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:08	今回、AからHまで実験装荷物がありますがそのうち、三つ、申請しますんでそれ以外のものですね、について、すでに許可を受けて認可を受けてるのか受けてないのか、それがわかるような資料。
2:06:26	で、続きまして、
2:06:32	先ほどの1から1の話で認可申請していないものについてはこれからどのような時期に認可を考えているかっていう、その時期の話ですね、を書くと、
2:06:43	続きまして第1編の話で、コンクリート模擬体について、奥井と茂木田井のコンクリートの部分ですねコンクリートの材料検査を今回しませんがその理由を説明することと、
2:07:02	次に10、5号の議題の評価をしているのがそれが最大なのか、第1編の中で70本製作すると、ますので、その25が最大ではなく、
2:07:17	算定的なろうとして評価今回押して、今回、典型的な炉として評価しているという説明を追加する。
2:07:27	ね。
2:07:28	次、5労働の許可の要件を満足しているかこれはあれですねQAですね、すいません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:37	次のコメント中性子の煩瑣。
2:07:43	条件のところですかね中性子の反射条件等について、
2:07:48	解析条件がわかるように、モデルを作成し、ということで今回、あれです ね解析の図が、配列パターンも出てなかったんですがもう5時、
2:07:58	細かく、その解析のモデルを
2:08:02	追加先方、
2:08:04	その次、実験のケア、計算値+パッシングはこれはシミュレーションの 方で、
2:08:11	としてもこのくらい減りあ、
2:08:16	ヒストリー須藤の計算条件ですね、こちらについては
2:08:21	1スライドの方に反映できますので反映します。
2:08:27	その下はこれは検査項目ですね、炉心の検査で反応度添加率等反応度検 査、
2:08:36	一層の反応度検査について記載が見えないということで、
2:08:43	それは初回臨界検査に入っています。それについて説明を追加いたしま す。
2:08:50	江藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:53	あと、今回の計算、
2:08:55	の考え方。
2:08:57	わかるように、
2:08:59	桐生。
2:09:01	先ほど三好さんにもう、の計算の考え方なぜこういう計算をしているのか。
2:09:09	そちらの
2:09:12	ですねデブリ構造材もギターを入れた炉心をモデルとして計算してますがなぜこういうモデルを選んで、選定して計算を行ったかというその理由ですね。はい。思います。
2:09:26	耐震計算書も後日確認します。はい。
2:09:30	はい。こちらでメモしているコメント以上となります。
2:09:38	規制庁金子です。何番目かわかりませんが5番目の
2:09:44	今後の設工認申請予定のところですけど、イメージはねAからHだけじゃなくて、すべての許可の範囲に範囲を広げて欲しいんです。
2:09:56	確認がね、設工認でまだ出てきてないところは、関連する設置許可の中であるかないかっていうのを整理しておきたいんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:08	そういうふうにしてもらう。もちろん審査会合の資料には入れなくていいですよ。ヒアリングの説明資料でいいですかね。
2:10:24	はい、原子力機構の新垣です。
2:10:27	はい。審査会合ではなくヒアリングの中で、そういうのを説明するということでは承ります。
2:10:35	はい。
2:10:36	よろしくお願いします。
2:10:44	資料のイメージをいいかな、いや資料のイメージ確認をしておくのがあれば、
2:10:52	規制庁イノウエです。
2:10:55	イメージ確認しておくの。
2:11:02	D Cの全体概要。
2:11:04	これポンチ絵っていうんですよ。
2:11:07	ふうんで、今回の試験の内容は、どこに入れるかとかそういうのがあった方がいいかな。
2:11:16	ここに入れるっていうのは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:18	実験装置を炉心があって中にこう突っ込んでいきますよみたいな、そんな、そんな図があると、どんなものかいまいちわからない。
2:11:35	規制庁金子です。1番目の会合資料に入れてもらう先週の全体概要なんですけど、
2:11:42	既存の、いわゆる何だろうな、立面図みたいなのではなくて、今回の設 工認、
2:11:53	多分はらみができるようなものなんかありがたいんですけど、何かそんなものありそうですかね。
2:12:04	はい、原子力機構の新垣です。今回模擬体製作しますがその模擬体を炉 内に入れたようなのがわかるようなポンチ絵を準備したいと思います。
2:12:15	はい、ありがとうございます。
2:12:16	あとどんな実験をやるかっていうその2ポツ目なんですけど、今回のキ ャラクターとして出てくるデブリ構造材の着たいと、資料。
2:12:29	燃料試料挿入管等、内挿管かな、それがどんな実験を考えているかの 中でちょっと当初、必ず投票させて欲しいんです。
2:12:46	はい、原子力機構の新垣です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:50	今回その三つの実験設備使えますがどのような実験で用いるかというものを説明する資料を入れたいと思います。はい。ありがとうございます。基準3番目の技術基準のマルバツなんですけど、
2:13:05	これあれですかね標準にマルバツを入れて、見込みに理由を入れるとかそんなイメージですか。
2:13:17	はいマルバツを入れて、その中で、
2:13:23	理由を、
2:13:27	入れるんですが、
2:13:28	確認させていただきたいのがこのバツについて、
2:13:33	全条項にどのくらいの
2:13:38	×の理由が必要なかっていうのがちょっとイメージができていません。これまでは×のものについて、基本的に該当なしっていうのをバツ、該当なしっていうものを、
2:13:50	つつ、資料で作成して提示したことあるのですが、このバツについて根拠理由の分量はどのくらいを、
2:14:03	想定されてますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:06	あのね内容によるんですよ。該当設備が入ってもそれで終わりなんですけど、あと例えばね、地震とか外部ハザードのところなんかは、結構詳しく説明してもらわないと、何で関係ないのか関係あるのかってわかんないので、
2:14:20	場所にあります。これからになります。該当設備がない。これ簡単です。自然ハザードのところは、ちょっと詳しい説明が必要でそんなイメージじゃ、わかりますかね。
2:14:32	はい。原子力機構の新垣です。承知しました条項によって明らかなものは該当なしでも簡単に説明しますが、
2:14:42	内容によっては、少しそれで何で該当しないのかというのを、雑学という事で理解しました。
2:14:54	担当はイメージを3でおいた方がいい。ない。ふうん。
2:15:04	あと何か追加で欲しい。
2:15:30	点だけ確認させてください規制庁の三好です。後から、今日の宿題の中には、いわゆる代表性。
2:15:38	解析。
2:15:40	なぜこれを選んでののかっていうその説明の中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:43	回答あると思うんだけど、今そちらで考えてるのは、
2:15:49	例えば、
2:15:50	コンクリートも舞台だったら、
2:15:53	70本ぐらい作るってことなんだけど、
2:15:57	そこまで入れることも、特に25本って制限してるわけではないって う。
2:16:05	そう理解していいんですか。
2:16:08	はい、原子力機構の新垣です。はいその理解の通り、70本製作して70 分使うことも考えております。
2:16:16	あと、コンクリートを守りたいと。
2:16:20	例えばサスのものをまぜるとか、そういうことも排除してない。
2:16:26	或いは先ほどの、
2:16:28	何だろう、そう単なる挿入管だけじゃなくて燃料試験体何とかがっていう のもあったと思いますけど、
2:16:36	そういうものも混在した方針も、
2:16:40	組もうとしてるのか、ちょっとそこだけ、今わかる範囲で結構だけど、
2:16:47	どんな感じなんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:01	原子力機構の新垣です。はいそれらの設備をまぜて使用することも考えております。
2:17:09	はい、了解しました。
2:17:19	はい。他ありますか。僕は大丈夫だと思いますけど。
2:17:25	それでは、ここで1回設工認の話は終わりにして、
2:17:31	スケジュールの話に入っていきたいと思いますが、
2:17:46	ゲームの話は
2:17:51	こちら、はい。1元施工のイシイですけどもスケジュールの話始めてよろしいですか。
2:17:58	どうぞお願いいたします。
2:18:02	すいません。録音はオンのままでよろしいですか。
2:18:07	録音のままになっておりますけども、
2:18:11	この話があって、そういうことで、
2:18:16	まず資料の資料を共有します。
2:18:20	はい。お願いいたします。
2:18:33	終わります。
2:18:44	はい。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:47	副院長の井上でございます資料画面上写っております。はい。それでは原子機構の石井です。S T A C Yの運転再開のスケジュールについてですね。
2:18:59	先日、11月25日の金曜日に、機構のホームページに公表しましたので、その内容について簡単に説明させていただきます。
2:19:09	概要ですがS T A C Y更新につきましては原子力規制庁さんの受託事業として実施している、実施しております。これについては7月に発覚した受注企業、元請が富士電機下請けが木村化工機と、
2:19:26	いうものになっておりますがこの受注企業で不適合が発生したと言うのはすでにご連絡申し上げた通りです。この不適合について
2:19:38	運転再開が現行計画変更計画は来年の1月、この1月としております。してはりましたが、
2:19:49	こちらから最大15ヶ月遅れて、2024年の5月初旬となる見込みであるというところになります。パブ6年5月初旬です。
2:20:00	ここで最大15ヶ月と申しておりますのは、今メーカーと工程を調整しております、精査すれば前倒しになる可能性もありますけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:14	一番遅くなった場合で15ヶ月遅れるというところで公表の際にはスケジュールを公表しております。これを先日の11月25日に考慮したというものになってございます。
2:20:29	2ポツのSTACY更新のスケジュールにつきましては受注企業の不適合、こちらは7月19日に機構のホームページで公表したものに対して木村化工機以外の工事の再開については9月30日付けで公表して再開をしたを再開しております。
2:20:48	しかしながら木村化工機の担当分、木村化工機は断層と給排水警視配管、こちらを担当しておりますが、こちらの不適合管理については、独立調査委員会の継続調査が継続している状態であって、
2:21:03	11月現在も再政策再開のめどが立っていないという状況になっております。
2:21:10	このまま独立調査委員会の報告を待っていますとですね我々規制庁さんの受託の事業が最終納期が2025年3月末と。
2:21:20	いうものが迫ってきてですね間に合わなくなってしまうところがございますので、木村化工機が担当していた岩相と給排水系の主配管、こちら全部で940点の部材がございますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:34	こちらについてはゼロから再製作するということを決めて雑賀浅井製作に着手したところでございます。
2:21:44	こういったこともあってですね 15 ヶ月遅れて現行の運転再開時期、2013 年 1 月下旬から 15 ヶ月遅れの 2010 年 5 月初旬となるということになってございます。
2:21:58	具体的なスケジュールは次のページに示してるんですけども見直し後のスケジュールでプラントの引き渡し。こちらについては富士電機からプラントの受け渡しは 2020 年の 1 ヶ月、1 月初旬になるというところで当社の計画から 13 ヶ月遅れた。
2:22:18	引き渡しになると、その後、2014 年 2 月下旬に初臨界で篠原事業者検査の合格が 2020 年の 3 月末、
2:22:29	昭和事業者検査の合格から支払い確認書の交付までには、1 ヶ月程度かかるということを規制庁の計算、どうもから言われてますんで、支払い確認書の交付が 2020 年の 4 月末になると。
2:22:43	その後 2020 年の 5 月初旬から臨界実験の運転を開始するというスケジュールになってございます。
2:22:53	こちらについては次のページに

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:58	公表したスケジュールを示してございます。この赤で示した所が先ほどお示ししました、工事の完了時期、あとは次回の時期、四角 3 番が集中審査報告時期、
2:23:14	D C、4 番が確認書の交付、
2:23:16	最後 2010 年の 5 月頭から運転を再開するということで、先日、公表したのになってございます。
2:23:28	あと 3 ポツは参考的なところがありますけども、ロシア燃料の輸送というところがありまして当初は S T A C Y 更新でこのロシア燃料を使うことも想定しておりましたが、今打田情勢の改善と経済政策。
2:23:43	この年齢層にはシェア、ロシアのウクライナ振興が収束する必要があるというところで、今現状それが見通せないというところで、
2:23:53	初臨界と住宅実験は、今持っている 400 本の棒寿命の範囲で炉心を構成して実施すると、輸送の時期についてはロシアの情勢を注視して検討したいというふうに考えてございます。
2:24:08	あともう一つ、この S T A C Y の運転再開時期が遅れるとですねすと原科研にある T C A の燃料を推進に持ってくるというのがございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:20	こちらはステージの更新後に持ってくるというふうになってございますので、
2:24:25	燃料の移管時期については、2020年度から2024年度をS T A C Yの運転再開後に変更するというのも合わせて変更になるというものになっております。
2:24:37	説明は簡単ですが以上になります。
2:24:45	はい。ご説明ありがとうございました規制庁イノウエご説明ありがとうございます。スケジュールについては
2:24:54	到底、
2:24:58	遅れていっていますということだと思いますけど。
2:25:03	皆さん何かありますか。
2:25:11	はいよろしいですかね。それでは本日の
2:25:18	内容以上ですので、
2:25:20	本日のS T A C Yのヒアリングを、
2:25:23	終了したいと思います。
2:25:26	それでは本日はありがとうございました。
2:25:31	はいありがとうございました減少機構の石井ですけども

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。